

1992

# 講義要項

*SHIRAUME GAKUEN COLLEGE*

1992年度 白梅学園短期大学

目 次

一般教育科目	1
外国語科目	7
保健体育科目	8
保育科第1部専門教育科目	9
心理学科第1部専門教育科目	21
教養科専門教育科目	31
教養科教職科目	52
教養科博物館科目	54
専攻科保育専攻第1部専門教育科目	56
専攻科福祉専攻専門教育科目	65

# 一般教育科目

1年次・2年次

## 《人文系科目》

哲 学

田 中 未 来

副題—近代ヒューマンイズムの系譜—

- 1) 近代ヒューマンイズムの2つの源流
- 2) 近代の諸思想—社会主義・プラグマティズム・実存主義等とヒューマンイズム
- 3) 科学とヒューマンイズム
- 4) 教育・福祉とヒューマンイズム
- 5) 平和とヒューマンイズム
- 6) 現代社会に生きるわたくしたちと、ヒューマンイズムの理念

文 学

東 喜 望

・現代の絵本と昔話

将来に資するために、表題のテーマですすめます。初めに昔話を概観し、次いで今日の絵本に描かれている日本の代表的な昔話をとりあげ、その話が過去においてはどのように語られていたかを比較検討し、その淵源をたずねていきます。

さるかに・鶴女房・浦島・一寸法師・桃太郎などをとりあげる予定です。

文 学

久保木 壽 子

古代の文学作品をできるだけ多く紹介しながら、その作品の特質を、時代・状況との係わりの中で明らかにしていきたい。

『古事記』から『源氏物語』まで、凡そ時代を追いながら神語りから物語へと散文作品の展開を見ることになる。

文 学

栗 田 廣 美

「小説を読む」ことの、豊かさ深さにふれてもらうことが、本講の目的である。主として日本の近代小説を例にしながら、ある意味では「作り話にすぎぬ」小説が、なぜ我々の心をうつのか、という「芸術の秘密」にも迫りたい。

「小説を自分で読むこと」が、前提として当然要求される。指定された作品は必ず読んで来ること。

## 歴史学

渡辺 新

1989年、ベルリンの壁が壊れ、戦後体制が再編成されようとしている。この講義では、日本近現代史を中心に学び、ファシズムと民主主義、社会主義、戦後体制などの歴史的構造を考えてゆきたい。また、近年、国際化が叫ばれる他方で、日本文化の問題が取り上げられている。そこで、この講義で、天皇制の歴史についても考えてゆきたい。

## 歴史学

平賀明彦

明治維新以後の日本の近代を対象にしながら、具体的な歴史過程に沿って「近代化」とはそもそも何なのかを考えていきたい。その際、細かい歴史事実や年代などにこだわるのではなく、広い視野で歴史のダイナミックな流れを追うことをこころがけ、そのような歴史に対する見方が、現代社会を理解するうえでどのような意味をもつかについて考えてみたい。資料、参考文献はそのつど紹介する。

## 美術

上野光子

日本を中心とした東洋美術。かってインド・中国・朝鮮の文化をリードし、日本文化の形成に大きくかかわってきた仏教美術を軸に、都市・建築・彫刻・工芸・庭園の代表的具体例にそって講義します。

その中で、歴史的、風土的背景をふまえながら、それぞれの国の美のとらえ方の違い、しいては日本人の美意識について考えます。スライド・ビデオ使用。見学も予定しています。

## 美術

稲木吉一

洋の東西を問わず、美術の発生、成立には宗教的な背景があり、日本美術もまた近世以前にあっては仏教美術を母胎に形成、発展してきた。授業では、主に日本の古代から近世に至る仏像彫刻をとりあげ、美術様式の流れと共に、作品にこめられた各時代の人々の意識や感情のあり方を通して、宗教と造形との関係について考えてみたい。

## 《社会系科目》

### 社会学

嶋根克己

人間は社会生活から切りはなされては生きていくことができない。

「人間は社会的動物である」という前提にたつて、人間のつくる社会を解明するのが社会学である。すなわち、人間と人間との社会的交渉という角度から社会を観察し、そこから得られた諸現象をその対象とする。

本講義では、日常なにげなく見過ごしている様々な事象を、異なった角度から考察することによって、われわれの生きているこの社会の意外な側面に光を当てていくことにする。

### 社会学

民秋言

人間は社会生活から切りはなされては生きていくことができない。

「人間は社会的動物である」という前提にたつて、人間のつくる社会を解明するのが社会学である。すなわち、人間と人間との社会的交渉という角度から社会を観察し、そこから得られた諸現象をその対象とする。

本講では、とくに家族に焦点を合わせ人間生活とのかかわりについて検討する。

### 経済学

奥 須磨子

人間社会は政治的・文化的など多様な側面からとらえることができるが、それらを基本において規定するのが経済構造であるという見地から、私達が生活している資本主義社会の基礎的仕組を理解することを課題とする。したがって経済理論が講義の中心となるが、人間社会の発展段階からみた資本主義社会の位置についても触れることにより、私達が生活する社会の歴史的到達点と今後に残されている問題のいくつかを考えてみたい。

### 経済学

富永静枝

封建社会が崩壊し、資本主義社会が展開していく過程を、イギリスと日本を対比しながら考察し、ついで資本主義社会における経済発展の法則を理解するために、経済学の基礎理論について講義する。

なお新聞やテレビのニュースなどで問題になっている現在の経済問題などもとりあげるが、中心は経済理論におく。

## 法 学 (日本国憲法)

(未定)

現代社会は法の網が細かく張りめぐらされ、ひとつトラブルが起こると、たちまちいくつかの法律が問題になり、一般の人々にとっても法律の知識がしばしば必要となる。例えば、自動車事故・医療過誤による賠償問題や、クレジット契約における消費者の被害の多発、更に、高度情報化社会におけるプライバシーの侵害など。そこで授業では、日常生活の中で生ずる様々な法律問題を素材にして、憲法を中心とする基本法令を理解してもらうことを主眼とする。生きた社会の中で法がどういう機能をしているかを理解することによって、ひとつの「現代社会を見る眼」を養ってもらいたい。

## 心 理 学

木津川 家 久

学問・科学の特質を考察した後、心理学の目的と方法を具体的に説明する。これらに続いて、社会的問題となっている現象を心理学の立場から検討をすることを目的として次の内容の講義をおこなう。

被暗示性を利用した販売法対策、性格の類型的な説明の流行、性格テストに類似した方法の氾濫、不適応問題を生じる育児態度・育児法、薬物・アルコール中毒と家庭環境、学校不適応問題と思春期の心理、不適応問題と心理療法。

## 《自然系科目》

### 数 学

入来院 ひさ子

一般教養の数学として、普段の生活に結びついた身近な事象を題材として、具体的に考えやすい分野として、統計学の基礎を学ぶ。さらに、読み書き算盤に次ぐ第4の基礎的素養と認識されつつある情報処理の基本的な概念を学ぶ。

身の回りにある様々な数値や情報にふりまわされるのではなく、あふれる情報に正しく意味付けし、必要なものを選択し、それをういて自分で考え分析し、生かせる能力を身につける事を目的とした。

### 化 学

刈 米 孝 夫

概要・科学の中の化学の位置を先づ知って貰い、化学を中心とした見方で宇宙の形成・地球・地球上での生物と人間の生活に及び、化学の効用と害毒について将来の職業人・主婦としての基本的化学知識を教育する。

視点・人間が便利の為に決めた化学を中心にして人間とのかかわりを知って貰う。

授業・講義・教育化学的ビデオ・実験。

## 化 学

滝 沢 靖 臣

我々の衣、食、住の生活において、“物質”は身近に関係しており、その発展や進歩はめざましいものがある。物質は化学的“目”を通してはじめて正しく理解されるものであり、本講義の中心は次の3点を主として解説し、探求する(1)近代化学への発展の過程、(2)化学の基礎となる考え方、(3)身近にある化学現象について。

## 生 物 学

小 作 明 則

講義は高校教育課程の生物学的知識を基礎に我々を取り囲む生物環境をより具体的に解説し、人間生活の置かれている生物、自然環境の理解を深めることを目的とする。講義は具体性を高めるために身近に存在する生物を例に、より多くの実物写真等により知識と実物の統一された認識を持つ手がかりをあたえたい。また逆に現実の生物から知識を得るために具体的にどのようにしてゆかかという過程についてもふれたい。

## 生 物 学

吉 川 研 二

日本列島は、宗谷岬(北緯45.5度)から、波照間島(北緯24度)まで、およそ2,500 kmにわたって連なっている。多くの山岳、火山、海岸などの地形や、亜寒帯から亜熱帯までのさまざまな動植物が見られ、世界的にも独特な生物相を形成している。私たちの祖先はこの自然から多くの幸を得てきた。しかしこの豊かな自然は、経済成長に伴って急激に失われつつある。その最大の原因は生息環境の消滅や資源の乱獲などである。野生生物の生活を知り、私たちが子孫に継承すべき自然を知ることは最もさし迫った課題である。

## 地 学

金 尾 直 敬

◎主題—宇宙・地球・人間

地学は、地球と宇宙の科学である。地球とそれをとりまく宇宙のありさま、しくみ、歴史などについて学ぶ。

◎内容—地球と太陽系、恒星と宇宙(銀河と宇宙、宇宙と構造と進化など)、地球の構成、地殻変動(地震、火山)プレート・テクトニクス説、地球の歴史、地球と人間生活(気象・海洋・陸水・地下資源など)

◎講義方法—『宇宙と地球の探求』(テキスト)に沿って講義し、ビデオ・スライドなどで補足する。

《総合科目》

人間

木津川家久・佐々加代子・栗田廣美・寺地功次

「人間関係」を中心テーマとして4名の教員がそれぞれの専門領域・関連領域から知識を提供し、見方・考え方を紹介して行く。受講者が各自の経験やすでにもっている知識と重ねあわせて見方・考え方を発展させることを期待している。

内容は人間関係とコミュニケーション、成長過程における人間関係の要因、成長過程の経験とその後の人間関係、文学・芸術と人間関係、政治・国家・戦争と人間、民主主義と人間関係等である。

外国語科目

1年次・2年次

《保育科》

- 英語 I-1
- 英語 I-2
- 英語 II-1
- 英語 II-2
- 独語 I-1
- 独語 I-2
- 仏語 I-1
- 仏語 I-2

- 中島好伸・清野茂子・野田尚文・森田眞澄
- 中島好伸・清野茂子・野田尚文・森田眞澄
- 後藤玲子
- 後藤玲子
- 正路妙子
- 正路妙子
- 村山知恵
- 村山知恵

《心理学科》

- 英語 IA-1
- 英語 IA-2
- 英語 IB-1
- 英語 IB-2
- 英語 IIA-1
- 英語 IIA-2
- 英語 IIB-1
- 英語 IIB-2
- 独語 IA-1
- 独語 IA-2
- 独語 IB-1
- 独語 IB-2
- 独語 II-1
- 独語 II-2
- 仏語 IA-1
- 仏語 IA-2
- 仏語 IB-1
- 仏語 IB-2

- 白井菜穂子・小古間甚一・後藤玲子
- 白井菜穂子・小古間甚一・後藤玲子
- 森田眞澄・後藤玲子・柴田真知子
- 森田眞澄・後藤玲子・柴田真知子
- 白井菜穂子・小古間甚一・森田眞澄
- 白井菜穂子・小古間甚一・森田眞澄
- 森田眞澄・後藤玲子・柴田真知子
- 森田眞澄・後藤玲子・柴田真知子
- 正路妙子
- 正路妙子
- 正路妙子
- 正路妙子
- 正路妙子
- 正路妙子
- 村山知恵
- 村山知恵
- 村山知恵
- 村山知恵

《教養科》

- 英語 I-1
- 英語 I-2
- 英語 II-1
- 英語 II-2
- 独語 IA-1
- 独語 IA-2
- 独語 IB-1
- 独語 IB-2
- 仏語 IA-1
- 仏語 IA-2
- 仏語 IB-1
- 仏語 IB-2

- ハベル清子・小古間甚一・島津信子・藤田久美子
- ハベル清子・小古間甚一・島津信子・藤田久美子
- 後藤玲子・ハベル清子・森田眞澄・野田尚文
- 後藤玲子・ハベル清子・森田眞澄・野田尚文
- 正路妙子
- 正路妙子
- 正路妙子
- 正路妙子
- 村山知恵
- 村山知恵
- 村山知恵
- 村山知恵

## 保健体育科目

1年次

### 体育講義

鈴木 明・池森 隆虎

科学技術の進歩は私たちの生活様式を大幅に、しかも急激に変化させている。このことは生物としての人間に歪みを生じさせずにはおかないだろう。この歪みは、1960年以降健康水準や体力の低下となって現れていることが、指摘されてきている。

そこで、「体力科学」の観点から、運動生理学を一般化し体力向上のメカニズム、個人の健康水準の維持と増進に寄与できる内容を提示したい。

### 体育実技

鈴木 明・松岡由紀子・池森 隆虎

生涯を見通した時に、職業人として、又家庭人として要求される“体力”の獲得と、その維持、増強に関する知識と技能を与える。

特に、一般持久力の向上を念頭において実技を展開する。

## 保育科第1部専門教育科目 1年次

### 〈目的理解〉

#### 社会福祉概論

都留民子

社会福祉、特にその固有の視点を、現代社会の動態的な個人・家族のニーズに即して学習する。諸外国における社会福祉の理念・思想、制度、実践・活動の動向をおさえながら、わが国の社会福祉の特質を学習することを目的とする。

#### 児童福祉

小林捷哉

児童福祉は児童の生活を保障し、心身の健全な成長発達を促進させることを目的とした社会的方策である。本講はその児童福祉に関する基礎的な知識を授けるとともに、現代日本における児童福祉（事業）の現状と課題を把握することをめざす。講義の内容は児童問題、児童福祉の成立と展開、児童福祉の意義と概念、児童福祉の対象・主体・方法、児童福祉のサービス体系、などによって構成される。

#### 保育原理Ⅰ

岡本 富郎・山口 寛子

「保育原理Ⅰ」は1年前期・後期に開講される。前期は、子どもと保育の現状、子ども観、保育の意義、目的、目標、制度、歴史、思想などについて講義する。

後期は、前期の内容を継承しつつ、保育の計画、内容、方法に関する原理について講義する。具体的には、乳幼児の発達、学習に関する内外の諸理論と保育内容の諸領域、指導計画、指導方法の関係について、原理的、実践的に検討してゆく予定である。

#### 教育原理

黒田 瑛・岡本富郎・田中未来

この科目では、ヒューマンズムの思想にもとづき、人間の自己実現の援助としての教育のあり方について述べる。まず、教育の本質について述べ、続いて教育の対象としての人間、発達と教育について話す。さらに、西洋と日本の教育思想をたどり、教育の目的について学ぶとともに、教育制度、学校教育及びその内容と方法、学校の運営管理、家庭教育、社会教育について話す。

## 《対象理解》

### 発達心理学

三 沢 英 夫

人は、受胎から死に至る全生活の過程において、その環境との関わりを通して、人間としての独自の可能性を実現している。その実現に伴う変化が広く発達と呼ばれる。本講では、胎児期から、老年期までを見通したうえで、とりわけ乳幼児期、児童期、青年期を中心に、その発達の特徴と、それを促す要因について講じ、望ましい発達とその援助方法とはどのようなものであるかを、心理学の観点から探ってきたい。

### 教育心理学

小 菅 茂 雄

教育の本質に関わる諸問題を心理学的角度、及び方法で探求することが教育心理学の目的である。ここでは、人間存在の意味を、従って教育環境の意味を個人の事例研究を基に具体的に追求する。家族関係、小さな体験、教育者のあり方等々に関わらせ、カウンセリングの手法や原理の重要性をも考えていく。次いで、パーソナリティの構造を、創造性と遊び、表現の意味等を含めつつ展開する。要は、如何に人は育つかの基本を考える。

### 小児保健 I

樋 田 豊 治

小児保健は保育の基礎である。保母は健康に成長する子の知識（生理、発達、栄養、精神衛生）を学ぶと共に、病気の知識（子どもがかかりやすい病気の症状と手当ての方法）、障害を持つ子どもの保育についての知識を身につけておかなければならない。

私は障害児施設の医師及び保育園園医として、保母と共に仕事をしているので、その経験をもとに講義をする。

### 小児栄養

北 郁 子

1. 小児期栄養の重要性
  - (1)小児期発育の栄養からみた特徴
  - (2)小児期栄養と食生活の特性
2. 発達栄養生理
3. 小児の栄養代謝とたべもの
4. 小児の栄養所要量
5. ヒトから人間に成長する、小児期の栄養と食事の視点から食事の自立を考える。

## 《内容・方法理解》

### 保育内容総論

近藤正樹・八木絃一郎・民秋 言 ほか

1年生前期に位置するこの科目は、保育志望の学生諸君に開かれた「入り口」として、「子どもの園生活と保育」を概観することと、いかに「保育」が意義深いものかということを理解することを主目的にし、「保育」の営みとその「内容」に関する基本的理解を理論的且つ演習的（集中演習）に追究する。

### 健 康 （保健行動）

（ 未 定 ）

幼児が人生を全うする基礎は、健康なからだと心にある。幼児期はこれらの基本的な資質を獲得する出発点であり、自由に活動する中で形成される。教育に携わる者として、疾病予防の観点から保健行動の習慣形成、生活リズムの確立とからだづくり、安全な環境の整備などに、適切な対応ができる講義を展開したい。

### 言語 I（言語行動）

佐 々 加 代 子

言語は人間の特徴のひとつであり、思考、行動に代表される。人間関係展開の手がかりともなる。出生直後から死に至るまで言語が社会生活で機能していくことが目指される。言語を周辺領域との関連でおさえながら、人間社会における言語、保育における言語を考える。乳幼時の言語発達、言語発達の歪みの問題について促進要因と阻害要因を検討する。

言語の諸側面を育む方法論の一助に演習を交える。

当該年度作製の「保育者養成のための言語」をテキストとして用いる。

### 乳児保育 I

西ノ内 多 恵

0、1、2歳児クラスを含めた乳児保育の目的と意義、乳児保育の原理、内容と方法などについての基礎的理解を得ることをねらいとする。

1. 乳児保育とは
2. 乳児保育における集団と個の考え方
3. 乳児保育の条件（人的・物的）
4. 乳児の生活と遊び

（尚、特別講義の形で、医学的な立場から乳児の成長・発達について内藤寿七郎先生に講義していただく予定です。）

## 児童文化

志 摩 弘

児童のおかれている現代の文化状況と伝承文化の今日的意義と方法を学ぶ。絵本や昔話等を読み聞かせ、正しい理解力を育てるために子どもの劇や人形劇を学ぶとともに、正しい話し方、発音、言葉の選び方、表現の仕方、子どもへの話し方を学ぶ。さらに、文字環境をととのえ、文字への関心を子どもが持つよう保育の在り方について学習する。

音楽 I (基礎理論) 今井久仁子・加宮 葵・諏訪羚子・関根美和子・  
舛本清美

前期は、音程、音階、初歩和声等の音楽の基礎理論で、対象は30名、90分授業で実施する。(毎回、小テストをやりながらすすめる、休むと次回の授業がわからなくなるので欠席には十分注意する事。

音楽 (基礎技能)(ピアノ)(声楽) (ピアノ) 今井久仁子他16名  
(声楽) 豊野雄次郎 平野ミヨ子

後期からは基礎技能の実技に入る。(ピアノ)は、両手の練習、音符の分割、音の切り方、指をくぐらせる等、最低12タイプの弾き方を、種々の調性による小曲を弾くなかで、理解し習得するように指導する。4名45分の枠内で個人レッスンで実施する。

(声楽)は、簡単な発声練習と初歩的なソルフェージュの練習を主体とし、読譜力を身につける事を目的としている。

図画工作 I 八木 紘一郎・花 原 幹 夫・枝 常 弘

まず前期は、保育を学ぶ学生自身の造形表現に関する造形的「基礎技能」技術を高めることを目的にした演習。具体的には多様な素材、技法を体験してまとめる。

後期は、主として子どもと造形活動、保育と造形に関する基礎的理論の学習が中心になる予定。

## 基礎ゼミ

専 任 教 員

基礎ゼミでは、対象を論理的に捉える方法の演習を行う。実際には、ある指定した事象を論理的に捉える(観察、分析、整理、まとめるなどを含む)基本的な方法(話す、書く)の演習である。具体的には、話す、書く(レポートの書き方、まとめ方)演習中心になる。

## 《教育保育実習》

### 実 習 指 導

保育所実習・施設実習・担当教員

保育所の1年次の実習指導においては、  
・実習前には、主に、保育所実習の目的  
・1年次のテーマ、保育所の機能と役割  
・実習日誌の書き方、実習態度  
など系統的に学習する。事後指導としては、実習体験のまとめと報告、討論、レポート作成など行う。施設実習は、1年次においては、2年次の予備段階として、施設実習の概要、とくに児童福祉諸施設の体系と役割を中心に学習を行う。

### 保育所実習 I

民秋 言・山口寛子・吉川研二

保育所実習 I では、11月に10日間の実習を行う。保育所実習としては、最初の体験でもあり、実習生は、保育所保育の大まかな内容と流れ、各園の概況、機能を理解し、保育科の学生としての意識の形成、保育のイメージ作り、学習課題の発見などできることをねらいとする。と同時に、10日間の実習を通じて、保育所の子どもたちの生活と発達、保育計画と指導方法に関しても、具体例により学び、2年次の学習の土台を豊かにしてゆきたい。

### 幼稚園実習

岡本富郎・三沢英夫・若松美恵子

幼稚園実習は幼稚園免許状を取得するために欠かせない。1年次は6月中旬から6日間実習を行なう。この最初の実習でつまずいたり、失敗すると、2年次(5月下旬から18日間実習)になって実習をさせてもらえない場合があるので、1年生は高校生気分を今すぐ捨てて自分で主体的に勉強してほしい。特に、言葉づかいや挨拶などの生活のけじめ、礼儀作法や掃除の仕方などがきちんとできていないと、よい実習はできない。何故なら、実習中、学生は半分は職業人(保育者)として実習を行なうからである。

# 保育科第1部専門教育科目

2年次

宮城重二

## ＜目的理解＞

### 保育原理

山口寛子

本科目は、2年前期までの実習や保育内容諸領域の学習を土台に、それらを総合し、整理する助けとして保育計画、保育内容、方法について原理的、統合的に学習することを目的としている。

具体的には、まず、諸外国の保育内容、方法理論の流れ、今日の動向などについて学習し、つづいて乳幼児の諸機能の発達と諸領域毎の学習過程、保育内容の構成と構造に関する考え方などについて、系統的に学習する計画である。

### 児童福祉

浅井春夫

児童福祉の授業部分として施設養護の目標・原理・内容等いわゆる養護原理の講義である。内容の骨子は、1. 施設養護の基本的視点、2. 施設養護の目標、3. 施設養護の基本原則、4. 施設養護の実際、5. 施設養護の形態、6. 「国連・子どもの権利条約」、7. 施設養護をめぐる法制度、8. 施設養護の今後の課題などである。本講義では各種の児童福祉施設を順次説明しながら、そこでの諸問題とあり方について理解することをめざす。

## ＜対象理解＞

### 教育心理学

山本政人

子ども、特に乳幼児の学習と人格にかかわる問題について、教育心理学の立場から解説する。学習に関しては、学習心理学の知見から、広く今日状況の中で子どもが行っている実生活における学習までをとりあげる。人格に関しては、様々な人間関係の中で、子どもの人格が発達していく様態をとりあげる。そしてこのような子どもの学習・人格をとらえる方法、視点について考えてみたい。

### 臨床心理学

三沢英夫

最近、心身症や精神分裂病など様々な心理的問題がクローズ・アップされているが、誰もが一生のうちには、何らかの心理的苦境に立つといえる。本講では、そのような悩み苦しむ個人を理解し、彼らがより充実した生活を送れるように援助しようと努める臨床的態度と知識を養う。同時に、これによって学生諸君が自分や他者への理解を深め、また保育現場で母親等の相談にあずかる際の基本姿勢を習得する参考の場としたい。

### 小児保健Ⅱ

1) わが国の母子保健の現状と課題の学習

①母子保健行政、②母子保健の水準、③母子保健対策

2) わが国の母子及び児童福祉の現状と課題の学習

①母子及び父子家庭の現状、②児童と家庭を取り巻く環境の変化、③家庭と子育ての現状、④施設福祉の現状

3) 乳幼児及び児童の健康問題、特に生活環境及び育児環境の変化との関わりを中心に学習

### 小児保健実習

外ノ池碩子・伊藤 祥子

乳幼児保育に必要な看護と技術、保健衛生について習得する。

1. 小児保健実習の目的

2. 小児の健康状態の観察

3. 主な症状に対する看護

4. 小児に起りやすい事故とその応急処置

5. 小児の身体測定法とその評価

6. 小児の生理的条件の測定と観察

7. 実習・沐浴・消毒法・薬の与え方・電法・救急法、繃帯法、乳幼児の取扱法、乳児体操

### 精神衛生

工藤行夫

精神的健康の保持、増進をはかり、精神障害を予防、治療する諸活動が精神衛生（精神保健）である。WHOの健康の定義に「身体的、心理的、社会的にwell-beingの状態にあること」とあるように、身体レベルから社会レベルまで広い領域が含まれる。精神の発達段階（ライフサイクル）に応じたそれぞれの精神衛生（精神保健）を、臨床的知見を交えながら検討する。

### 小児栄養実習

北 郁子・菊池波津子・国井雅代

小児期の食事の特性につき胎児期、乳汁期、離乳期、幼児期、学童期に分けて理論と実習を行う。

1. 発育に必要な栄養と食文化を子ども達に能動的に知らせる料理形態と共食のしかた

2. よい食習慣の確立のための理論と実習

3. 食事計画とその手順

4. 小児期食事の現状と問題点

## 家族社会論

藤村正之

皆さんが空気のごとく当たり前と思っている家族。社会では、その家族が危機だと大騒ぎされています。その理由は、家族という集団の構成要因である世代(子ども・おとな・老人)と性(男性・女性)、そして感情(愛情)が現代社会の重要な問題要因でもあるからです。家族の形態と機能の議論をふまえて、ライフサイクルとライフコース、結婚・離婚、単親家族・ステップ家族、女性の就労、老人介護、家族と科学などの諸問題を考えていきましょう。

## 障害児教育論

伊藤英夫

1. 障害者に幼児障害とはどのようなことか。その具体的事例をふまえて展望する。
2. 「自閉症」「Down症」「てんかん」等のやや精細な事例研究的展開を試みる。
3. 障害児保育の事例研究の方法。観察・記録のとり方、テスト及び調査方法。
4. 大脳生理学と障害との関係。
5. 「統合保育論」その理論的展望と考察。

以上の点について努めて実践的角度から講義を展開したい。

## 施設養護論

浅井春夫

施設養護の具体的な内容について最新の成果を紹介しながらすすめていく。講義内容の骨子は、1. ホスピタリズム論の克服、2. 入所前から退所まで、3. 日常生活の領域と実際——衣食住、生活指導、学習指導、性教育、幼児・学童養護、問題行動への対応など——4. 施設養護の専門性、5. 施設運営と職員集団、6. 地域社会とのかかわり、7. 他機関との協力、8. 施設養護を担う職員像などである。問題意識の形成に役立つ講義をめざしたい。

## 《内容・方法理解》

### 教育課程総論

岡本富郎

「教育課程総論」は他の諸科目との関連で位置づいている。講義では「教育課程」の意味、必要性、園生活のとらえ方、あそび、しごと、課題となる活動、集団、行事、保育上の様々な概念などについて話す予定である。また、教育課程の法規的な側面である「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」についても話す。授業方法としては実際例を紹介しながら話し、受講生と一緒に考えながら進めていくつもりである。

## 環境Ⅱ(自然)

近藤正樹・吉川研二・小作明則

成長過程にある子供たちを、自然とともに生きる喜びのわかる人間に育てることは、私達に課せられた重い課題です。本講義では身のまわりの環境諸条件のうち、自然事象にかかわるものを扱います。幼児教育者に不足している理科系素養をいかに充足していくか? これまでに学んだ知識をより確かなものとし、使えるように訓練すること。自然とのふれあい体験が欠落しがちな現在、選択する学生たちに十分な体験教育を施すよう配慮している。そのために授業では数多くの宿題や作業を課したりする。

## 表現Ⅱ(造形表現)

八木紘一郎・花原幹夫・海老原京子

乳幼児の表現行動の中で、特に「造形的表現」について、どのような内容を企画し・どのような環境づくりをしたらいいか・どう援助指導をしたらいいかを、代表的教材とテーマを事例にして研究的に演習する。それらを、対象児の年齢や発達に合わせて柔軟に対応する方法についても考察する。

## 表現Ⅲ(身体表現)

若松美恵子

子どもは、自分の見たこと感じたことを、いろいろな時と場所で言葉や身体で表現しようとする。その自発的な表現をはぐくみ、子どもの感受性、表現意欲、創造性を豊かに育てる指導法を学ぶ。

## 音楽Ⅰ(ピアノ)

今井久仁子 ほか16名

自律した毎日の練習の積み重ねが、成果を現してくる重要な時期となります。7月には、余裕をもって、3グレードの試験が受けられるよう、自分の進度を調整し、確実に集中した練習をしてほしいと思います。

## 音楽Ⅰ(声楽)

加宮葵・惣田修

2年次においては、発声練習・ソルフェージュは、やや高度になり、並行して、新曲の譜読み、はっきりした言葉の発声、歌唱法等を指導し、スムーズに歌が唱えるようにという事を目的としている。

## 音楽Ⅱ(童謡)

平野ミヨ子

就職したその日から必要な童謡を、一曲でも多く覚えること。子ども達にうたうことの楽しさを伝えるにはどうしたらよいか。その表現方法を学び、保育者がまず楽しんで歌えるようになることを目的として、簡単な発声練習の後、昭和初期から現代に至るさまざまな童謡の中から、実際に役立つ曲を楽しもうとっていく。

## 音楽Ⅱ(わらべうた)

茂手木 節子

1. わらべうたをうたうということについて、民族的意義を追求しながら、なおかつわらべうたを出発点にした乳幼児への音楽教育の方法を、理論と実践の両方から学ぶ。
2. 集団でなければ得られない音楽の楽しさを知り、その経験がひとりひとりにかえて、ひとりひとりの音楽性を豊かにしていく。そしてそのことによりまた一段と高められた集団になるというくりかえしを体験できるようにする。

## 音楽Ⅱ(リトミック)

吉原 節子

ダルクローズ音楽教育法にもとづくリトミック(リズムによる総合教育)を通して、勤めよい保育者を目指すために、その実技と幼時期の指導法を学ぶ。

- ・ リズム運動
- ・ ソルフェージュ
- ・ ピアノ即興法
- ・ 幼児教育全般との関連と展開

※ 受講時は運動するにふさわしい身仕度をする。

## 体 育

若松美恵子・高野 牧子

乳幼児の運動に関する発達をふまえ、必要な運動の方法とその指導法を学ぶ。又保育者として適切に運動が行えるよう資質の向上及び体力の増強をめざす。以上を授業の目標として、講義及び実技で行う。

## 乳児保育Ⅱ

西ノ内 多恵

乳児保育Ⅰで学んだことに立脚して、よく具体的、実践的に乳児保育の実践に触れるよう、クラス運営、保育内容、方法などについて学ぶことをねらいとする。

1. 乳児保育と行事
2. 家庭との連携
3. 育児について
4. 遊びの形成と保育者の役割
5. ことばの発達と保育者の接し方
6. 保育計画と指導計画

## 保育計画法

民秋 言・佐々加代子

この科目は、多様な保育対象に応じた保育実践を実現するための、実践的な方法技術の獲得を目的とする。内容は、保育計画に関する基本的知識としての歴史的系譜と代表的な事例。対象を幼年期中心として、保育環境の整備計画、3年間ぐらいの複数年、対象別の年間別、その学期別、月別、週別、日別、そして単元や、活動、あそびに関する計画などについて実践的な理解をめざす。

## 保育方法論

西ノ内多恵・山口 寛子

保育方法論においては、保育所における保育方法に関して関心が深い受講生を対象に、次の点を中心に学習する。

まず、幼児クラスの保育形態、方法に関して、クラスの形態や集団の規模、日課や活動の種類と流れなどを中心に学ぶ。幼児クラスに関して、三才未満児の年令の特徴に留意しながら、遊びを中心とした諸活動の展開過程と指導方法について、環境、保育者、子どもなどの視点から具体例を通じて学ぶ。

## 社会福祉方法論

阪野 貢

社会福祉の実践的的局面における代表的な方法(ソーシャル・ワーク)としてケースワーク、グループ・ワーク、コミュニティ・ワークなどがあげられる。

本講では、まず前半において、ソーシャル・ワークの源流をさぐる。それをうけて後半はコミュニティ・ワークを中心に概説し、そのうえで具体的な事例研究もおこないたい。

また、社会福祉についてのいくつかのトピックスにも焦点をあて、一緒に考えたい。

## 《研究理解》

### ゼミナール

専任教員

ゼミナールでは、教員の指導のもとに、テーマに従って1年間にわたる共同の学習を行う。文献・資料の精読や話し合い、あるいは観察、調査など活動内容は多様である。学生が主題について深く学ぶとともに、研究の方法を習得することを目標とする。ゼミナールの人数は15人前後である。ときに応じレポートの提出が課せられるとともに、学年の終りに口頭発表会が予定されている。学生の主体的な参加がのぞまれる。

## 《教育保育実習》

### 幼稚園実習

岡本富郎・三沢英夫・若松美恵子

1年次の実習に基づいて、2年次には5月下旬から18日間の実習を行なう。この学習では、自分で「指導計画」をプランニング・作成し、実習中の1日ないしは2日間は、実際に先生になって実習を行なう。きめの細かい真剣な学習をしておかないと、失敗をしてしまうので、2年次の4月からこの実習に向けて準備をしてほしい。特に1年次の実習後、自分自身で気づいた問題点や指摘されたことをよく反省し、自分で具体的に学習をしておく必要がある。

### 保育所実習

民秋 言・山口寛子・吉川研二

9月に第2回実習（参加、部分指導実習）を2週間行う。その内、第1週では、主に対象の理解を目標とし、乳幼児のあそび、生活等の活動について学ぶ。また、第2週では、保育者の子どもへの対応、指導過程、指導法を学ぶとともに、指導案を立て、部分実習を行う。

### 施設実習Ⅰ

浅井春夫・都留民子・近藤正樹

養護施設、精神薄弱児施設など各種の児童福祉施設（保育所を除く）における保育実習は保母資格取得のための必須科目である。この実習は児童や職員との人間的なふれあいのなかで施設養護の実際を知ることのできる貴重な機会である。それはまた、保育者をめざす者にとっての人間観、児童観、児童養護観、保育者像を検証し、確立していくことの第一歩となろう。なお、施設保母を志ざす者には選択実習（施設実習Ⅱ）も用意されている。実習の時期は、2年次の11月に（一部分は8月）予定されている。

### 施設実習Ⅱ

都留民子

施設保母を志ざす者のために選択の実習として本科目が用意されている。必修の施設実習Ⅰで行なった種類以外の児童福祉施設で実習することになるが、実習の意義や方法は施設実習Ⅰとかわるところはない。施設実習Ⅰ・Ⅱの両方で養護系と障害系（収容または通園）の2種類の実習が望ましい。実習の時期は、2年次の7～8月の間に随時実施する。希望者は担当教員に早めに相談されたい。

# 心理学科第1部専門教育科目

1年次

## 〈基礎心理科目〉

### 心理学序説

木津川 家久

学問・科学の特質を考察した後、心理学の目的と方法を具体的に説明する。これらに続いて、「心理学による問題の解決法」という見地から次の内容の講義をおこなう。その1. 社会問題の考察：被暗示性を利用した販売法対策、性格の類型的な説明の流行の問題、薬物・アルコール中毒と家庭環境、不適応問題と思春期の心理。その2. 心理学的測定法の理解：性格テストに類似した方法の氾濫、性格テスト・知能テストの正しい理解。

### 青年心理学

林 潔

青年期、それは人生で一番変動の大きな時期として位置づけることもできます。

前半は青年心理学を概論的に解説します。

後半は青年期の問題行動を中心に、授業を進めます。

〈教科書〉 岡堂哲雄編 青年期の心理 新曜社 980円

### 発達心理学

小林 夏子

子どもは、現実に生活し、日々変化してゆく存在である。そして発達に関わる要因は、単一ではなく複雑に影響しあっている。その姿を理解するためには、まず子ども観・発達観について各自が十分に考える必要があると思われる。その上で一般的な発達診断の基準や方法について学習する。また、子どもの発達をよりダイナミックに考えるために、特に遊びとの関連において捉えたいと考える。

### 条件づけ

荻野 七重

人は経験を通して、知らず知らずのうちにある種の反射的行動を示すようになっていたり、あれこれ行っているうちに、自己に有利な結果をもたらすような、あるいは危険や不快を避けるような行動の仕方を身につけていく。人間の行動にこのような変容を引き起す過程（学習の過程）に見られる最も基本的な形態であり、行動の分析の手法でもある条件づけについて、動物や人を被験体として行われた多くの実験によって説明し、講義する。

## 性格の形成

木津川 家 久

性格類型論の解説と批判、乳幼児期経験の重要性（ホスピタリズム問題とその解決、母性的養育の喪失、親と子の相互作用の重視）、育児法・育児態度と子供の性格、依存から自立への発達過程、自立を促進する条件、マズローの基本的欲求の階層的発達理論、神経症と精神分析療法、心理療法とカウンセリング、愛情欲求と不安の理論（フロム、ホルネイ、フロイト）、ロージャースの自己理論、他。

## 《演習科目》

### 基礎技法演習

池 田 功

自国語で書かれた文章を十分に解説する力と、豊富な語彙と表現力を駆使して誤字のない、説得力のある文章を書く力は、専攻に関係なく基本的に必要な素養である。本講義ではその力を養うために「文章」を理論的に把握すると共に、作文によって語彙力、文章表現力の向上を図りたい。具体的には近代の有名な作家の作品を読み、その感想の提出と添削指導を繰り返すことになるであろう。テキストは開講時に説明する。

### 実験計画法

八 木 孝 彦

科学とはなにか？ 科学的方法とは？ について説明したのち、実験計画の基礎となる概念を学習する。独立変数と従属変数、実験群と統制群、要因計画等である。

ついで実験の分析を行う。実験事例をとりあげ、実験計画のすぐれている点と問題点等を検討する。

なおこの科目はテキスト（別に指示）を使用するので受講者は購入のうえ、授業に出席すること。

### 心理学演習Ⅰ

荻野七重・木津川家久・八木孝彦・

金子尚弘・多喜乃亮介・倉澤壽之

心理学は科学的な方法を採用入れることによって大きく発展した。心理学で扱う事象は身近なものが多いので、主観的な解釈に陥りやすいものであるから実験、検査、調査等の方法についての知識は心理学を学ぶ上で不可欠である。

心理学演習Ⅰでは、心理学の研究に必要な基礎的な方法を用いて実験を行ない、その結果をレポートにまとめることによって、実験、検査等の実施方法や結果の解釈の仕方を学ぶ。

### 心理学演習Ⅱ 荻野七重・林 潔・八木孝彦・金子尚弘・多喜乃亮介・倉澤壽之

心理学演習Ⅱは、心理学演習Ⅰの続きであり、演習課題は大きくなり、一課題あたりの演習時間も長くなっていく。また、研究法からみると、心理学演習Ⅰでは精神物理学的測定法、知覚・学習実験法を中心に学習したが、心理学演習Ⅱでは心理検査法、心理調査法、精神測定法が中心となった演習を行う。

### 文献研究

林 潔・八木孝彦・多喜乃亮介・倉澤壽之

担当の教員が自分の専門分野について文献を選択し、授業をすすめる。具体的内容とテキスト（単行本、論文）については別途連絡する。

### 心理統計Ⅰ

荻野七重・星野祐司

心理学を学ぶうえで必要な統計的手法と知識を習得させることを目的として演習的な講義を行う。

心理統計Ⅰは、Ⅱへの前段階としてデータのまとめ方、基本的な統計値の算出の仕方など、記述統計を中心に授業を行う。受講生は学期始めに電卓（機種は学科で指定、生協で販売）を購入し、授業時はそれを使用する。

### 心理統計Ⅱ

金子尚弘・星野祐司

心理統計Ⅰで学んだ基礎的な記述統計学の知識を土台として、実際に心理学研究に用いられている統計的分析の方法を、その考え方、適用する時の条件、計算の方法を含めて修める。特に実験・調査の標本データの有意差を検定する方法を、実際の数値例を用いて、ほぼ毎日実際に計算し検定することによって学んでいく。ここで学んだ考え方と方法は、心理学を科学的に学ぶ上で非常に重要な技術となることを留意して学ぶことが望ましい。

### 情報処理Ⅰ

多喜乃亮介・倉澤壽之

今日、情報処理という用語はさまざまなレベルで用いられている。工学レベルではコンピュータを駆使した情報の入力、加工、蓄積、伝達およびそれらのプログラム化などを指す。この授業では、工学レベルでの情報処理技術の基礎的な知識を修めると共に、心理学演習や卒業研究のデータ処理やレポート作成に役立つ応用レベルでの情報処理の技術を身につける。授業では、パソコンを使って文書作成や表計算プログラムの使用方法を学ぶ。

## 〈医学系科目〉

### 神経生理学

多喜乃 亮 介

テクノロジーの進歩にしたがって神経科学の領域の知識がますます広がってきています。心理学で扱う心の働きの基礎となる神経系は、どのように構築されているのか、またどのように機能しているのかを知ることは、生物としての人間を理解する上で重要になっています。講義では、ニューロンに始まり、それによる情報の伝達、それを支える物質的背景、中枢神経系の解剖学的構造とその働き、研究方法の紹介などを扱います。

## 心理学科第1部専門教育科目

2年次

### 〈基礎心理科目〉

#### 感覚と知覚

金子 尚 弘

われわれが見たり、聞いたりすることは単に生得的で受動的な事ではない。知覚の後天的で能動的な側面について学ぶために、知覚のメカニズムとその獲得について視知覚を中心に講義する。スライドやビデオ教材を用いて、感覚生理学の見聞や、錯覚など知覚現象を実際に目にしながらそのメカニズムについて考えてみる。知覚や行動など基礎心理学の対象に関して全般的な興味を有していることが望ましい。

#### 記憶と思考

荻野 七 重

新しい状況に置かれたとき、人は過去の経験を生かしてその状況を切りぬけなければならない。試行錯誤的に、あるいはあれこれと仮説を立てたり、推理したりする状態がここに生まれる。このような問題場面では、言葉や概念の働きが重要な意味を持つてくる。言葉や概念の獲得とその利用について、また外部から与えられる刺激（情報）は、どのように記憶され、保持され、利用されるのか（記憶の過程）について、多くの実験を紹介し説明する。

#### 感情と情緒

八木 孝 彦

本講義では、方法的には実験的な手法によるもの、領域・内容的には感情・精神生理・無意識といったテーマについて考えていきたい。

講義の視点としては、生物及びヒトとしての共通性と、十人十色といわれる個人差の中間に構築するべきものと設定してあるので留意のこと。

#### 社会心理学

倉澤 壽 之

人間は社会的動物であり、「他者」の意味するところは大きい。この講義では印象、好意、恋愛、援助、同調、服従、承諾などのトピックを取り上げ、他者との関わりを二つの側面から考えてゆく。すなわち、「他者をどう思うか」という対人認知の側面、「他者からどのような影響を受けるか」という社会的影響の側面である。この講義を通して、他者との間に存在する様々な問題を実験心理学的な視点から捉え直して欲しい。

## ◀演習科目▶

### 英書講読

林 潔・金子 尚弘

行動療法の比較的易しい英書を時間をかけて読むことにします。その中で、心理療法の英文の専門用語を覚えることもできればよいと思います。

テキストは、クラス分けの時、提示します。

### 情報処理Ⅱ

多喜乃亮介・倉澤 壽之

情報処理Ⅰで学んだ工学レベルでの情報処理技術の基礎的な知識と応用レベルでの文書作成や表計算プログラムを使用する技術とを用いて、更に高度なコンピュータ利用技術を身につける。ここでは別々のプログラムで作成された文書データや数値データを合成したり、他のプログラムで利用できるように技術を身につけ、パソコンを有効に活用できるようにする。またプログラムはどのように作られているかを理解できるようにする。

### 心理学研究演習

木津川家久・林 潔・荻野七重・八木孝彦・金子尚弘・多喜乃亮介・倉澤壽之

心理学研究演習は2年次後期の卒業研究につながる科目である。指導担当教員があらかじめ提示した演習のテーマの1つを選び、その指導教員の指導を受けて、原則として共同で研究をすすめて行くものである。

実験、調査、生理心理的測定テスト、文献研究など研究目的に応じたものとなる。

なお、提示した1つのテーマを希望する人が多い場合には他のテーマに変わることもある。

### 心理学研究法A

八木孝彦・川島 真・妙木里宴・三浦和夫

### 心理学研究法B

多喜乃亮介・倉澤壽之・鈴木牧彦・寺田雅英

心理学研究法A、およびBは心理学の基礎的研究や応用にあって必要な特定の技法を習得することを目的としている。測定器具を用いる研究法やコンピュータの技法などを選択して指導を受けることになる。

なお、1年次に心理学研究法A（又はB）を選択した場合は2年次に心理学研究法B（又はA）を選択することになる。

## ◀応用心理科目▶

### 精神生理学

多喜乃 亮 介

ものを見たり、感じたりする背景にはどのような体の働きがあるかを考えていきます。『神経生理学』で得た知識を基礎として、更に高次の脳を中心とした神経系の働きと心の関係を扱います。具体的な研究方法、測定法、実験例を紹介しながら、感覚や知覚、認知、運動、情動、意識水準（覚醒水準）といった心理学で扱われてきた分野を生理的な側面から考えていきます。

### 心理検査法

木津川 家 久

心理検査一般の基本的な特徴、効用性と限界、利用上の留意点、心理検査者の資質と倫理など心理検査を利用する際に必要な知識を獲得できるように講義した後、代表的な投影法の技法、とくにロールシャッハ・テストの実施法と解釈法を講義する。

単位取得にはロールシャッハ・テストの実施（自分自身が反応するか、他者に実施する）を条件とする。

### カウンセリング

林 潔

今日のカウンセリングの分野について大きな影響を与えている。Rogersの考え方を中心に紹介します。

相談にきた人の「成長の力」を信頼し、その人の主体性を徹底して重んじる方法は、戦後の相談の分野に強い影響を与え今日に至っています。時間があればその他の立場についても紹介します。

教科書：内山、高野、田畑「講座サイコセラピーⅠ カウンセリング」

日本文化科学社

### 行動療法

林 潔

人間の行動を学習の結果として理解するのが、心理学の学習理論です。行動療法はこの考え方を臨床の分野に応用しようとする試みで、わが国では昭和40年頃から盛んになってきました。また最近では「認知的行動療法」と呼ばれる分野も盛んになっています。

この時間では事例を中心に勉強して行きます。

参考書は「カウンセリング」と同じです。

## 臨床心理学

中村 延江

概要：ストレス性疾患、特に心身症に対する臨床心理の立場と役割の実際及び健康心理学的視点からのアプローチとしての臨床心理の意義。内容：ストレス性疾患と心身症・心身症の疾患の種類とその特徴・ライフサイクル毎の疾患の特徴・疾患に及ぼす家族、母子関係の影響・健康心理学的視点・心理的アセスメントとアプローチの方法・具体的心理的技法。方法：理論的面の講義と臨床体験（見学等）各技法の体験（自律訓練・交流分析等）

## 健康心理学

八木 孝彦

健康心理学はまだ若い学問領域である。したがって、まず現在一般的な定義を説明し、その歴史、領域、諸理論について概説を行う。

後半部では、バイオフィードバックや自律訓練法などの方法や、最近注目されてきた東洋行法についても解説を加える予定である。

## 交流分析

林 潔

精神分析を易しくしたものが、交流分析です。

日常生活での自分の出し方、他の人とのコミュニケーションの仕方には良かれ悪しかれ、その人の特徴があります。そのいわばクセを知って対人関係に役立てようというのが交流分析です。VTRを使って授業を進めます。

参考：内山、高野監修「交流分析」日本文化科学社

## 児童相談

木津川 家久

児童相談の現状と歴史を講義した後、事例研究を中心に主として討論形式で授業を進める。授業の内容は、子供の知能・性格と家庭環境などの診断を主とするものと、育児や家庭教育・学校教育の相談を主とするものに分けられるが、診断と相談を総合した事例を研究するが多い。

評価は、授業時間中の発言内容と期末レポートの結果を総合して行なう。

## 心理学特講 I

林 潔

—心理療法—

箱庭療法のいわば応用編でコラージュ療法というのがあります。切り絵を使う芸術療法の一つです。

前半はこのコラージュ療法をみんなでやってみます。

後半はアイビイのマイクロ・カウンセリングを紹介します。

## 心理学特講 II

伊藤 典幸

本講では、「応用」という観点から心理学を概観していく。

これまでに、実社会において心理学がいかに役立ってきたか、あるいは、役立っているかを、「産業心理学」、「環境心理学」、「交通心理学」といった心理学の応用各分野から分かりやすい具体例を紹介しながら解説していく。

## 《医学系科目》

### 心身医学

佐野 良五郎

総論として、心身医学の定義及び歴史について述べ、心身医学が現代医学に於ける位置づけについての理解をすすめていく。

各論では内科及び小児科領域の心身症についての知識をふやすことによって臨床心理学への興味を深めていく。

### 障害児医学

佐野 良五郎

総論と各論に分けて講義をすすめていく。総論では障害児の定義、分類、発症原因及び予防、福祉問題に触れたい。

各論では厚生省の分類に従って、聴覚・視覚・病弱虚弱・精神薄弱・言語・肢体不自由・情緒障害等の七つの障害児について医学的、心理学的両面より講義をすすめたい。

### 精神衛生

青田 洋一

現代精神医学の基礎的知識を習得し、精神障害に対する誤解・偏見をとくこと。さらに、その知識を日常生活において役立てていけること。それを目標にかかげて、講義をすすめていきたい。

### 精神医学

青田 洋一

症例や社会問題における精神医学的検討を通して、精神医学的な見方・考え方ができるようになること。たとえば、「気違い」や「狂気」などの言葉にかえて、「精神分裂病」や「躁うつ病」という用語で理解・表現できる、新しい視野を身につけること。それを目標にかかげて、講義をすすめていきたい。

## 《卒業研究》

木津川家久・林 潔・荻野七重・八木孝彦  
金子尚弘・多喜乃亮介・倉澤壽之

心理学演習Ⅰ・Ⅱおよび心理学研究演習までに学習したものを基礎にして共同研究をおこなう。担当指導教員・テーマは原則として心理学研究演習と同じで、その研究を発展させ、統計処理等を含め研究レポートの作成にあたる。

研究の結果を12月中旬発表会で発表する。

## 教養科専門教育科目

1年次

### 《文学系科目》

#### 日本文学史（近・現代）

栗田 廣美

明治以後、大正、昭和（戦前）までを中心に、日本近代文学の歩みをたどる。特に、問題の多い大作家と、その代表作をとりあげながら、近・現代文学の展開をあとづける。「文学」の魅力にふれてもらいたい。

受講生には、言うまでもなく、旺盛な読書が要求される。指定された作品は、必ず読んで来ること。

#### 日本文学（中・近世）

東 喜望

文学研究の基礎は作品研究にあるといわれている。この授業では、日本の中・近世の代表的な作品を精密に読み味わうことに主眼をおき、受講者がそれぞれの作品について、自らの作品論をうち立てられるように、作品分析や研究方法の基礎についてもふれていきたい。出席を重視する。

前期は、原本（嵯峨本）の影印本を用いて『方丈記』を講読し、後期は、近松の『心中天の網島』をとりあげる。

#### 国 語 学

野本 秀雄

私たちの日本語がどんな性質を持ち、他国語とどんな違いを持っているのか、また、古代から現代に向かってどのような変化をとげてきたのか、一そうしたことを音韻・文字・語彙・文法などの分野にわたって研究する。

従って国語学は、国文の研究（古典文学・近代文学を問わず）にとって、また国語科教師になる場合にも、基本的に必要とする学問の一つである。

#### 国 語 表 現 法

久保木 壽子

自分の考えを文章として表現するのは、そう簡単なことではない。この授業では実際に書くことを通じて、的確な表現力を身につけていく。

問題提起的な文章をとりあげ、自分の考えを明確に捉えることをめざすと共に、相互に文章批評を行い、美しく確かな表現について考え、表現に対する意識的な態度を養っていきたい。

書くのが苦手な人に、強く参加を求めたい。

## 国語表現法

丸尾寿郎

文章を「書く」うえで大切なことは、上手下手でもなく技法でもない。平生の生活で、いかにものごとをよく見つけ、考え、感じるかが根本である。だから「書く」ことは、そのような生活をつくり自己を育てる契機ともなり得る。本講座では、実際に「書く」こと、批評することを通して、自己を育てる文章表現の力がつくようにしていきたい。

## 国語表現法

野本秀雄

文章を書くことは、自分の考えを表現するだけでなく、書く過程で自分の考えを整理しつつ確かなものにし、更に新しく発展させていくことである。

したがってこの講座では、文章を書く実習の中で文章の書き方を自ら体得していく実践が中心となる。また、各自の文章を皆で批評し合い更に推敲して、互に高め合っていく相互学習も行う。

## 〈歴史系科目〉

### 史学概論

西村汎子

歴史学を学んでゆく上での方法上の諸問題について学ぶ講義である。歴史学とは何か、歴史の発展段階、歴史発展の基本法則と特殊性、歴史における偶然性と必然性、人間の意識や行動が果す役割などについて、できるだけ具体的な事実に即して考えてみたい。

### 史料講読

平賀明彦

日本の近代の政治や社会の様子を伝える公式文書や、個人の日記、書簡、あるいは当時の人々の様子を伝える調査記録などを題材にして、史料の中に息づいている時代の息吹を感じとりながら、歴史的な文書から具体的な歴史事実に迫っていく方法をさぐっていきます。取り扱う史料については追ってお知らせします。

### 史料講読

黒田弘子

私たちがこれまで学校で学んだ歴史、歴史的事件の数々は、すべて、史料にもとづいてくみだられており、それら史料をどのようによむかによって、浮かび上がってくる歴史像も異なってきます。このように、史料の読み、解釈は歴史学にとってたいへん重要なものです。

これまであまり歴史に登場しなかった女性のすがたを、中世史料をていねいによみながらみていくことにしたいと思っています。

## 史料講読

齋藤善之

本講義では江戸時代(近世)の古文書の解読をおこなう。近世文書は墨で書かれているが、その書体は御家流(おいえりゅう)と呼ばれ、琉球(沖縄)から松前(北海道)まで同じ書体に統一されていたことに特色がある。ここでは庶民の書簡(手紙)を素材として、古文書(コピー)をじかに講読し、古文書読解力を養うとともに、当時の人々の感性や文化様式などについても考察したい。

## 日本古代史(考古学を含む)

玉口時雄

我が国における旧石器時代から奈良・平安時代にいたる考古学的・文献的史料を用いて日本古代史について問題点を指摘しつつ講義をおこなう。

教材はプリントして適時配布する。

## 日本美術史

稲木吉一

日本の古代から中世にかけての絵画の歴史を、仏画・絵巻物を中心に取り上げながら概観し、日本絵画の特質について考えてみたい。

## 〈国際系科目〉

### 英書講読 I

中島好伸

アメリカ文学の短編を精読する。文学作品だけに少々難しい文も出てくるが辞書を細かく引く習慣を身に付け、英文を正確に読む練習をする。必ず予習が必要である。テキストは未定。

### 英書講読 I

江坂由紀子

わかり易い現代英語で書かれた文学作品、随筆、評論などからテキストを選び、いわゆる訳ではなくて的確に内容を把握し、鑑賞する力を養ってゆきたい。そのためにも、徹底的に辞書をひく習慣と、辞書の使い方を身につけ、語彙力を高めるよう努力してほしい。

### 英作文

ハベル清子

外国語の習得は自分の言いたいことを自分のコトバで伝え、相手にわかってもらう時に起こるといふ。教師がこの文章のパターンでこういうことを言えと教えても習得にはつながらないという。私はこの考え方にそって、各自の書く練習のお手伝いをしたい。辞書よりも、自分の言いたいことをたくさん、そしてそれを公にする少しの勇気をクラスに持って来て欲しい。

## 英 作 文

中 島 好 伸

単文を数多く暗誦し、英語の基本構造を習得する。毎時間テストを行なうので、そのつもりで予習、復習に取り組んでもらいたい。テキストは未定。

## 英 会 話 I

Lisa Okōchi

Students will learn how to relax and enjoy english through active participation in drama-skits and other information-exchange games.

Encouragement will be given to wards self-expressionism rather than grammatical exceraces.

## 英 会 話 I

Swan, William Lawrence

To promote English conversation, classes will consist of skits and short dramas base upon a core dialogue, and which all students will have a chance to participate in. Emphasis will be on using conversational expressions rather than on Learning grammar.

## 英 文 法

寺 地 功 次

高校までに習ったが、なかなか身につけていないような基礎的文法事項を重点的に学習し直し、実践的に活用できるようにすることが目的である。授業での解説、演習に加え、多くの基礎的構文や表現を覚えてもらう。基礎を確立せずに先へ進んでも時間の無駄となるので、各自が單元ごとに一定のレベルに達しなければ、何度でも繰り返して学習してもらう。従って、理解できないところがあれば、必ず質問することが大切である。

## LL (発音法・聴取り)

ハベル 清 子

日本語にもある音も含めて、英語の子音・母音ひとつひとつを聞きわけ、また自分で再現出来るようにする。自然な英語の聞きとりのために、縮約形そして弱化系、強勢と音調もやる。カセット・テープは2~3本必要。カセット・プレーヤーも自宅にある方が良い。試験は実際に自分が発音した単語や文章をふきこんだテープを提出するので、はずかしがらずに教えられた様に口を開けたり、舌を動かしたりすることが大切である。

## 言 語 学

篠 崎 晃 一

人間の社会や文化と密接な関係を持ち、思考、伝達に重要な機能を果たしている言語について、具体言語の事例を参照しつつ概観する。言語の根本原理から音韻論・形態論・意味論などの諸部門まで、ひと通り言語学の基本的知識に触れるように心掛ける。併せて英語と日本語を比較・対照して当該言語による思考形式の特性についても考える。なお、テキストおよび参考文献は開講時に指示する。

## 《社会系科目》

### 民 俗 学

小 林 梅 次

民俗学の特色、特に他の社会科学と異なる方法論より解き、民俗学の視点から日本人の心に照明を当てたい。身近な生活面を民俗学の観点から改めて問い直し、内省の学としての意義を認識させたい。

多少でも調査実習を試み、ビデオを利用し講義内容の具体化をはかり、理解を高めるようにしたい。

### 日 本 経 済 史

富 永 静 枝

日本経済の現状を正しく把握するためには、まず日本経済をその歴史の流れの中で構造的にとらえることが必要である。そこでこの講義では、資本主義が典型的に発展したヨーロッパ諸国と対比しながら、日本における資本主義の発達過程を明治維新前後から第二次世界大戦後における経済復興の時期までについてふれる予定である。

## 《外国語科目》 (文学コース・社会コース開講科目)

### 基 礎 英 語

ハベル清子・森田眞澄・藤田久美子・野田尚文

少数クラス編成(25名前後)。授業は原則として英語で行われる。基本的な発音・語彙・慣用句・文法などの知識を整理統合し、反覆練習することによって、英語を実際に活用できるようにすることを目的とする。従ってクラスではDrillに重きを置く。予習も必要だが、復習に十二分の力をそそぐこと。出席最重要視科目で通年必修。

## ◀特設科目▶

### 情報処理 (演習を含む)

宮 武 直 樹

本講義の目標は、情報社会に対応できる素養を身につけること、コンピュータを学習の道具として活用できるような力を培うことである。

コンピュータに慣れ親しむために、日本語ワープロの学習から入り、さまざまなソフトを使ってコンピュータを使いこなせるようにする。演習では文書作成、データベースの構築、グラフや図形の作成、CAIの作成などを行う予定である。また、簡単なハードに関する講義も行う。

### 英文タイプ・ワープロ

正 木 徑 子

高度情報化社会に於て、OA化による事務処理の適確・迅速さが要求されている。この社会に対応出来る様に前期には機器操作の基礎となるタイプライティングのタッチメソッドを習得することに重点を置き、後期にはコンピュータに英文ソフトを使用してワープロの多岐に亘る機能の理解と各種英文ビジネス文書等を印書化するのに必要な基本的知識の講義と演習を行う。

## ◀教養演習 I ▶ (ゼミナール)

専 任 教 員

神 道 明 子

(必修) 通年

下記のようなゼミがある。それぞれのゼミは10名から15名程度で構成し、学生の報告・討論などをもとにして個別研究や共同研究を行ないながら、学生の自主的な研究をめざす。

また、研究をより豊かで確かなものにするために、実地調査や見学などを行う場合もある。

### ○海と列島の説話

東 喜 望

大陸から見れば、日本はその対岸に浮かぶ島嶼群にすぎない。その小さな島々の集合体の中でも、「本島」と「離島」というように、必ず主と従の関係があり、おもしろいことに、この主・従をつなぐ話がある。そんな説話を発掘していきたい。手初めに下記をとりあげる。フィールドワークも行なう予定。

「平家伝承」・「源氏伝承」

### ○近代日本の小説 (有島武郎を中心に)

栗 田 廣 美

明治・大正・昭和初期の文学を、小説を中心に大量に読んでもらうことになる。何よりも、「読む」ことが好きでなければならない。「文学」という芸術を研究するためには、何よりも「読む」ことが前提だ。次が、読んだ作品について、考え、語ること。その次が書くこと。

有島武郎研究を一つの軸とはするが、実際にはもっとはば広く、日本の近代小説を読み「文学」を考えたい。「読書好き、文学好き、芸術好き」な学生であることが強く求められる。

### ○『源氏物語』(I)

久保木 壽 子

現代において、なお多様なアプローチの方法を要求してくる『源氏物語』を取りあげる。(I)では、予言通りに栄雅を極めた理想の主人公光源氏が、光を失って退場していく幻巻までを取りあげる。

予言はどう実現されるのか、なぜ源氏は光を失うのか、平安という時代状況の中に作品を置いて、その主題・構造について一緒に考えてみたい。

意欲的な参加を期待。テキスト等後日指示。

### ○現代女性論 (I) 一 家族・家庭のあり方について一

富 永 静 枝

あなたは「真に豊かに生きる」とはどういうことか考えたことがありますか。いま女性のライフサイクルは大きく変化し、女性の生き方も多様化しています。そこでこのゼミでは女性をめぐる社会的状況の変化を正しく把握し、女性としての望ましい生き方を模索するために、各ライフステージごとにどの様な問題があるか、家族や家庭のあり方について検討し、21世紀に生きる男女のあり方について考えます。活発な討論を期待しています。

### ○日本女性史 (I)

西 村 汎 子

女性の地位と役割を考える上で、婚姻および家族のあり方は深い関係がある。『日本女性史』を読んで、原始から現代に至る婚姻および家族の状況がどのようであったかを、日記・古典・小説などによって実例を追いつつ、考えてゆきたい。演習開始に当っては、現代の女性たちの現状について、ひととおり調査する予定である。

テキスト：『日本女性史』(角川書店)

### ○日本近現代史(I)

平賀明彦

日本の近・現代史にかんする基本的な文献を輪読し、幕末・明治維新以降の日本社会についてのイメージを豊富化することをめざしていきたい。そのなかで、個々のゼミ員が、自分なりのテーマをみつけ、さらに深く追究するための下ごしらえをしていく。取り上げる題材等についてはゼミが成立したところで相談して決めたい。

### ○ことばと文化(I)

江坂由紀子

ことば・ものの考え方・行動の仕方の間には非常に興味深い関係がある。主として日本語・日本文化と英語・英語文化を比較・対照することによって、異文化に対する理解・洞察力を養ってゆきたい。昨年度のテーマと主要テキスト(他に指定図書のリストあり)は、

- 1) ことばと文化の関係：鈴木孝夫：『ことばと文化』、  
J. Seward: Nihongo' (英書)
- 2) 異文化衝突 中津燎子：『こども・外国・外国語』 大庭みな子：『津田梅子』。

今年度のテキストは未定。

### ○国際関係論

寺地功次

現在の国際社会がかかえる問題や、国家間、地域間や地域内の関係を、日本とアメリカ、日本とアジアといった観点を中心に様々なかたちで考えて行きたい。

また、国際関係だけでなく、比較政治的な観点からも、日本や他の国々の国内政治や社会における様々な問題も考察したいと考えている。

### ○アメリカ文学研究 I

中島好伸

当ゼミはアメリカ文学について研究するゼミである。まず一年次においては、アメリカ文学の歴史を大まかに概観し、時代ごとの特徴と基礎事項を押さえることに主眼をおきたい。ゼミでは、An Outline of American Literature というアメリカ文学史の入門書をテキストに取り上げ、各章ごとに担当者を決め、報告してもらおう。また、そこで取り上げられた代表作品についても数多く翻訳で読んでもらい、討論しながら作品分析を試み、その都度レポートも書いてもらおう。二年次で行う専門的な研究の導入として幅広い基礎知識を一年で身に付けてもらいたい。

### ○渡来文化と奈良時代の美術

神道明子

我国では古墳時代以前から、朝鮮と中国の影響を強く受けて文化が発達してきたという状況があるが、仏教伝来のころより大陸文化の流入はいっそう盛んになり、渡来する人々の数も、先進者としての地位も一段と高まっていったと考えられる。日本各地に残るこれら渡来文化の跡をたどりながら、飛鳥・奈良時代に花開いた仏教美術を、我国をとりまく大陸、半島の政治的文化的状況に照らして考えてゆく。演習は各自の研究発表を基本に進めることにする。

## 教養科専門教育科目

2年次

### 《文学系科目》

日本文学史(古代)

久保木 壽子

言うまでもなく「文学史」とは、作品・作者名を暗記するものではない。この講座は、文学の発生期から平安時代末までの文学作品—「古事記」「竹取物語」「源氏物語」「今昔物語集」などの主として散文作品—を、適宜とりあげ読むことによって、古代文学の特質について考え、その展開の様相を見ていくことにしたい。できれば「日本文学(古代)」と併せて受講してほしい。

日本文学史(中・近世)

東 喜望

古代の文学を継承しつつ中世において新たに勃興・発展した文学はどのようなものであったか、そして中世文芸を克服しつつ近世において創造された文学はどのような特質を持っていたか、これらの問いを軸として考察をすすめ封建制の文学の展開を跡づける。

日本文学(古代)

久保木 壽子

奈良・平安時代の文学作品を講読する通年の講座である。前期は『万葉集』を中心に和歌文学を扱い、後期は『和泉式部日記』を読む予定である。

『万葉集』では、各期の代表的な作品を扱い、時代と和歌の係わりについて考えたい。『和泉式部日記』では、和歌と散文の接点にある当日記を通じて、平安期の女流日記文学成立の必然性について考察する。

日本文学(近・現代)

栗田 廣美

近代～現代の日本文学について、小説を中心に講義する。一年次の科目よりも、個々の作品の内部に踏みこんだ内容にしたい。漱石・鴎外・有島を中心にするが、大正末期～昭和の何人かの作家にも、場合によっては触れることにする。

指定された作品を必ず読んで来ることは当然だが、その他にも旺盛な読書を期待したい。

西洋文学思潮

村山 知恵

今、世界中が大きく音をたてて変化しようという時代に私たちは生きている。こういう時であるからこそ私たちはじっくり立ち止まり、しっかりと歴史の流れを受けとめ未来を考えていかななくてはならないと思う。そこで私は、揺れ動く西洋の歴史を様々な文学作品を読みながら感じとり、今に生きる私たちの未来と一緒に考えていけたら良いのではないかと思う。一緒に幾つかの作品を読み、背景や考え方をお互いに話し合いながら進めていきたい。

漢文学

東 喜望

中国古典文学の代表的な作品を精読し、作品の背景にある中国の思想や文化、歴史などについても理解を深める。

作品は、日本の文学にも影響を及ぼした散文学をとりあげるが、まず下記を精読することからはじめたい。

鄭還古『杜子春伝』・瞿佑『剪灯新話』

現代言語生活論

谷口 勝三

言語表現の特質を、絵画表現などとの比較において考えていく。さらに、日常言語・文学言語・理論言語のそれぞれの特徴を、実際に文章表現をすることによって、考えていく。また時間が許せば、小説・詩などを言語の美の問題としてとらえていく方法論について講義する。

書道 I

神野 雄二

悠久の歴史を持つ書は、古代から現代に至る人間の直截な生命の表現といえる。このたしかな“形”の発生と変遷の跡を探ることは、日本文化の理解につながる。わが国独自の流麗な仮名は、それをみごとに表現したものといえる。本講座においては、中国・日本の名品を可能なかぎり学び、基本的な技法を習得し、またスライドを通し研究鑑賞をする。更に、書と日本文化のかかわり合いをさまざまな角度から説明する。

書道 II

小峯 恭子

書写を中心とする。日本と中国の数多い古典の中から代表的なものをとりあげ、これを参考にしながら各体の漢字と仮名の実習(書写)を行う。まず写実的臨書を、次いで応用の創作を行う。また硬毛(ペン字)も実習する。

## 《歴史系科目》

### 日本中世史

西村 汎子

日本の中世とは、古代の律令社会とも近世の封建社会ともちがうどんな特色を持った社会だったかを考える。当時の支配者たちは、草深い地方や都に住む民衆たちの変化を基礎にどのような支配体制をつくったのか、また、民衆たちは何を考え、どんな生活や文化を生み出し、どうやって自分たちの生活を守っていったのか、できる限り探ってゆきたい。

### 日本近世史

斎藤 善之

近年「江戸学」がブームとなるほど、日本近世史に対する関心が高まっている。これは単なる懐古趣味ではなく、現代の大量消費文明に対する批判の高まりが背景にあるといわれる。たしかに江戸時代は「鎖国」状況の中で限られた資源を活用する方法、技術を生み出し、それを独特の文化様式にまで高めた時代であったといえる。そうした面から、江戸時代の生産・流通・消費および文化の特質について考えてみることにしたい。

### 日本近現代史

平賀 明彦

明治維新以来の日本の「近代化」の過程を、明治憲法の枠組みや大正デモクラシー状況、あるいは戦争と民衆などの問題を通して明らかにしていく。また、それらの帰結点としての敗戦を契機に出発した戦後社会の特質についても考察を加え、現代社会を理解するためのつながりをさぐっていききたい。資料、参考文献についてはそのつど紹介する。

### 日本文化史

平賀 明彦

開国とその後の文明開化にはじまる近代の文化史の流れを、文化論や日本人論、あるいは、時々の政治・経済状況とのかかわりでその姿を変えるナショナリズムの問題などをてがかりに、時代を追って検証し、現代の文化状況を考えるために有効な歴史的方法をさぐっていききたい。資料、参考文献についてはそのつど紹介する。

### 日本女性史

西村 汎子

現在、女性の地位は高まったとは言え、女性が真に人間らしくその力を発揮して生きるには、なお多くの障害がある。そこで、女性の生活を歴史的にふり返ってみて将来の展望をつかむことは重要であろう。その場合、労働のあり方・

財産権・婚姻形態・家族関係・道徳観などに注目し、その中でたくましく生きた女性たちの生涯についても、できる限りとり上げてみたい。

### 東洋文化史

神道 明子

東洋の美術を考える上で日本や朝鮮半島を含む中国文化圏と、仏教発生の地であるインドの二大文化圏をまず思いうかべるが、もう一つシルクロードの終着点或いは出発点であるメソポタミア・ペルシア、さらにエジプトの美術をも考慮に入れる必要がある。その講義ではこれらの美術の本質にできるだけ近づくことを目標にする。また各々の文化の結びつきにも焦点をあてて東洋文化全般を考えてゆくことにする。

### 東洋美術史

神道 明子

日本の美術に深い影響を与えた古代中国美術について、殷・周より唐代までを講義する。前半は近年中国で出土した墳墓の壁画や副葬品等の美術を主とし、後半は敦煌などに今も残る石窟寺院の仏教美術を中心に話を進めてゆく。スライドを使用し、できるだけ視覚にうったえる授業にしたい。

### 西洋史

土浪 博

中世ヨーロッパ社会について論じる。いちおう(1)ヨーロッパ世界の成立(概説)(2)実力社会としての中世(政治秩序)(3)農村と都市(共同体の形成)という構成を予定している(主たる対象はドイツ)。テキストなし。講義中にプリントを配布する。前提知識は特に必要ないが、心配な人は世界史の概説書の西洋中世に関する部分を読んでおくとうよい。

## 《国際系科目》

### 英書講読Ⅱ

江坂 由紀子

中学・高校時代に身についたらしい、機械的に英語から日本語に置き変える、いわゆる訳から脱却して、英文を英文として内容が把握できるように努めて欲しい。ことばの意味は文脈で決ります。丹念に大きい辞書をひいて十分に下調べをすること。ときには辞書をひかないで数章読んで大体の内容を掴んでから辞書をひいて下さい。原書を読む喜びを感じるようになることを目的とします。

### 英書講読Ⅱ

寺地 功次

前年の学習を基礎に、より高度な英文を読みこなせるような総合的読解力を身につけることを目的とする。最初は平易な題材を扱うが、本だけでなく、雑

誌や新聞なども含め、様々な内容、難しさの英文も取り上げていく予定である。  
辞書を丹念に引くことはもちろん、幅広い知識、想像力を駆使して英文を読めるようになってもらいたい。

#### 英語演習 A

寺地 功次

日常会話やごくふつうの書き言葉において使われる基礎的な構文・表現を習得し、応用できる力を身につけることを目的とする。受講者の人数にもよるが、文法・作文的な要素だけでなく、速読・多読的な内容も取り入れて、総合的な読解力、表現力を養うことができるような授業としたい。

できれば、単語、イディオム、慣用表現の勉強も取り入れたいと考えている。

#### 英語演習 B

江坂 由紀子

(英語による英書講読) Arthur Newton という21才の青年を主人公とした中々面白い物語。しかし授業は殆ど英語で行われ、英語での問答あり、Drill あり、Exerciseあり、小テストありで、相当厳しいですよ。ほんとうに英語力を身につけたいという意志と情熱と忍耐力のある人だけきて下さい。そして授業中は私語をしない人、英語でしゃべるときは下手でもいいから大きな声で堂々と発言する人歓迎。

テキスト: 'Getting On'

#### 英会話 II

Lisa Ōkōchi

Further development in dramatical english skills will be emphasized through skits, and problem-solving games.

#### 英会話 II

Swan, William Lawrence

To promote English conversation, classes will consist largely of skits and short dramas that all students will have a chance to participate in.

Primary emphasis will be on using conversational expressions rather than on learning grammar.

#### 独書講読

正路 妙子

平易な読物を中心に歴史、文化の紹介をしながら、ドイツ的な思考法とその表現形式を辿りつつ、日常的な事柄をドイツ語で表現する練習を重ねていきたい。そうした作業を通して、ドイツ語で読むことの楽しさを味わって頂きたいと思う。

#### 仏書講読

村山 知恵

フランスの楽しい物語や、様々な小説に触れながら、フランス語の文法、表現方法、考え方、歴史さらには文化を学び、フランス語により親しみを覚えていけるようにしたいと思う。

#### アジア・アフリカ文化

三富 正隆

異質な文化、歴史を有する地域の地誌について認識を深めることは、単にその地域の特質と歴史への知識を得ることにとどまらず、それまで我々が持っていた価値観を揺がし、「文化相対主義」の視座を育ませるきっかけともなる。そこで本講は、近年関心を集めつつあるが、在外知られることの少ないサハラ以南のアフリカをとりあげ、その文化や社会の特色について概観していくことにする。

#### 比較文化論

早川 紀代

人間の性をめぐるいろいろな問題、女性たちの恋愛の自由や避妊、中絶の自由を求める動き、男性たちの動き、国の人口政策の歴史、生殖技術の発展と人間の性の関係などを20世紀を中心に、イギリス、ドイツ、日本の事例をとりあげて、考えます。とくに戦争(第二次世界大戦)の時期に、人間の性はどんな風に国によってとりあつかわれたかということに重点をおきたいと思います。(主として講義)

#### 英米文学

中島 好伸

以下に掲げるアメリカ作家について、一時間につき一人ずつその人生と代表作並びに時代背景を講義し、アメリカ文学の特質を引き出しながらその魅力を味わってみたい。受講生諸君には、前持って所定の作品を読んでもらい、最終講義までに5枚のレポートを提出してもらおう。

取り上げる作家: ベンジャミン・フランクリン、ナサニエル・ホーソーン、ハーマン・メルヴィル、マーク・トウェイン、ジャック・ロンドン、セオドア・ドライサー、F・S・フィッツジェラルド、アーネスト・ヘミングウェイ、ジョン・スタインベック、リチャード・ライト、J・D・サリンジャー、バーナード・マラマッド

#### 国際関係論

平井 文子

中東をめぐる国際関係を学びます。中東とは、東はアフガニスタンから西は

モーリタニアに至る広大な地域を指しますが、そこには古くから多様な民族と多様な文化が息づいています。今日の中東は、戦争と平和の問題、民族問題、宗教問題、石油問題等現代世界がかかえる深刻な諸問題と深くかかわっています。今年は、①パレスチナ問題、②中東新秩序の2つを軸に、歴史的視点を重視しながら講義をすすめます。

## 国際経済論

大野和美

第二次世界大戦以後の世界経済の動向を主要な対象とする。但し、その理解のために、それまでの世界経済の推移の概要についても説明する。

ポイントは、世界の中心国の産業的発展が世界経済をリードしつつ、その構造的変化をも引き、国際的諸問題（例えば国際通貨・金融問題、南北問題など）を発生させる、という関連を具体的事実を通して明らかにすること。テキストは、大島清編『現代世界経済』（東大出版会）

## 欧米事情

寺地功次

特に第二次世界大戦後を中心に、世紀転換期以後の世界秩序の変遷とアメリカ合衆国との関わりを概観する。近年の世界各地での情勢の変化も念頭に置いて、資本主義と社会主義といった体制や思想の問題も考えて行きたい。半期の授業だが、本を4～5冊読み、レポートを3回ほど提出してもらう予定である。

## 〈社会系科目〉

### 文化人類学

上杉妙子

文化人類学とは、文化に注目するアプローチから人間を理解しようとする学問分野である。民族・文化は現代社会の変動を規定する重要な要因であり、現代ほど文化人類学の見識が必要とされている時代はない。そこで本講義では文化人類学の目的・方法・成果について実例を交えつつ説明する。また、学生諸君に自らの存在基盤としての文化について思索を深めてもらうため、適宜レポートも課したい。学生諸君の積極的な参加を望む。

### 社会思想史

針谷寛

西欧近代社会の特質を考えてゆく手がかりとして、ヨーロッパ社会思想史における「市民社会」概念の変遷をたどり、また西欧の「都市市民」像についても検討する。理論的には、カント、ヘーゲルなどドイツ近代の思想家の社会理論を重点的にとりあげる予定である。

テキストは使用しない。時おりプリントを配布する。参考文献は講義のなかで紹介する。

## 国際関係論

平井文子

中東をめぐる国際関係を学びます。中東とは、東はアフガニスタンから西はモーリタニアに至る広大な地域を指しますが、そこには古くから多様な民族と多様な文化が息づいています。今日の中東は、戦争と平和の問題、民族問題、宗教問題、石油問題等現代世界がかかえる深刻な諸問題と深くかかわっています。今年は、①パレスチナ問題、②中東新秩序の2つを軸に、歴史的視点を重視しながら講義をすすめます。

## 生活科学

富永静枝

最近家庭をとりまく状況は大きく変化した。生活水準は上昇し、国民の9割が自分の生活を「中流」と意識するほど物質的には豊かな社会になった。反面自然破壊や食品公害など生活環境は悪化し、単身赴任や離婚の増大など家庭をめぐる状況も厳しさを増している。そこで本講では現代の家族・家庭生活が抱えている様々な問題を取り上げ、真に豊かな生活とは何かを追求してみたい。

## 現代婦人問題

富永静枝

近年女性をとりまく社会的状況は大きく変化し、女性の生き方も多様化している。雇用機会均等法も制定され、女性の社会進出も大きく進展した。しかしながら伝統的な性役割分業の社会システムのもとでの女性の社会進出は、多くの問題点を生み出している。本講ではこのような社会的状況の変化を正しく認識し、これからの家族・家庭のあり方や、女子労働をめぐる諸問題についてふれ、これからの望ましい女性の生き方について考える。

## 〈自然系科目〉

### 自然科学概論

柳下登

受講生の感想は『自然科学概論という自然に関する講義は今回初めて受けました。自然や生命、生物についての発生、発展過程も、今回の講義と教科書により、詳しく知る事が出来たと思います。進化の道を魚を例にした事で二つに分けられる事ができて理解し易くなった。脊椎動物の繁殖様式の進化の特徴や土は生きている、牛の餌の事など、身近な事が多かったので関心も持ち易く講義を受けられたと思います』であった。今年もこんな講義を試みたい。

## 自然科学史

柳下 登

かつて人間は自然に従属していたが、それから独立し、それを支配する関係を成立させてきた。その過程で、人間は自然を知り、自己を変革し、より人間らしい人間になってきた。そして今日では自然との調和を模索している。この講義は今までの科学史とはちがって、人間と自然との関係の史的考察に視点をおき、自然との調和への光明を見出したい。内容は、人間と道具の発見、人間と火の発見、人間と農耕の起り、人間と地動説、人間とニュートン力学、人間と「種の起源」、人間と生命工学（遺伝子工学）など。なお、世界最古の紙「パピルス」紙の製作を実習としておこなう。

## 科学技術論

高田 峰雄

過去45年間での日本の経済発展は世界史上の「奇蹟」といわれているが、これを可能にした有力な要因の一つとして技術革新をあげることができよう。

「奇蹟」は確かに輝かしいものであったが、それは同時に暗部をも伴って今日に至っている。このようななかで、現在進行中の技術革新について、その明暗の両側面から検討してみるのも意味があろう。

## 《外国語科目》（文学コース・社会コース開講科目）

### 英書講読

藤田久美子・島津信子・小古間甚一・ハベル清子

簡潔で、わかり易い現代英語で書かれた随筆、評論、或いは文学作品を精読する。語いをふやし、読解力を養いたい。それには徹底的に辞書をひく習慣を身につけ、辞書の使い方を体得して欲しい。

テキストは未定。

### 英会話

オーコーチ、リサ

The purpose of this course is to have all students actively participate in situational dialogues based on drama skits. Emphasis will be on self expression and body language rather than grammar.

### 英会話

Swan, William Lawrence

To promote English conversation, classes will consist largely of skits and short dramas that all students will have a chance to participate in. Primary emphasis will be on using conversational expressions rather than on learning grammar.

## 独書講読

正路 妙子

平易な読物を中心に歴史、文化の紹介をしながら、ドイツ的な思考法とその表現形式を辿りつつ、日常的な事柄をドイツ語で表現する練習を重ねていきたい。そうした作業を通して、ドイツ語で読むことの楽しさを味わって頂きたいと思う。

## 仏書講読

村山 知恵

フランスの楽しい物語や、様々な小説に触れながら、フランス語の文法、表現方法、考え方、歴史さらには文化を学び、フランス語により親しみを覚えていけるようにしたいと思う。

## 《教養演習Ⅱ》（ゼミナール）

専任教員

小杉 瑪里

（必）通年

1年次の「教養演習Ⅰ」の学習を踏まえて、これをさらに発展させた研究を行なう。また、前期には、各ゼミごとに数日にわたる「学外演習」を行なう。これは、ゼミのテーマに沿って実地調査や見学を行なうもので、研究の深化・正確化を図るためである。

### ○海と列島の説話

東 喜望

昨年の成果を継承しつつ、本年は、特に、南海の「離島」にのこる「平家伝承」を研究することからはじめる。文芸資料だけでなく、古文書や地誌などの歴史資料も駆使しながら多角的な考察を加えることになる。ゼミ成員の一層の努力と協力をうながしたい。

後半は、近年、問題視されている「為朝伝説」をとりあげる。

### ○有島武郎研究

栗田 廣美

1年次に奮闘努力した成果をふまえ、いよいよ「研究的」に読む訓練に入る。意気高らかに、がんばろう。

### ○『源氏物語』（Ⅱ）

久保木 壽子

前年に引き続き『源氏物語』を取りあげる。これまでのところから、この作品の大よその構造は把握しえたものと思う。（Ⅱ）では、昔物語的な構想を脱し、人物相互の関係から必然的に作品が展開していくと言われる、第二部若菜

以降を重点的に読んでいく。前年以上に、課題をこなす必要があるし、その中で自分なりにこの作品に対する問題意識を深めていって欲しい。

#### ○渡来人と仏教美術(Ⅱ)

小杉 瑪里

飛鳥・奈良の仏教美術と渡来系文物を具体的に考究し、実物と文献の両輪で演習作業を行う。奈良演習旅行を前提にして、中国・朝鮮から流入した文化と、現存する飛鳥・奈良の古美術を比較研究する方法を演習で行う。ビデオやスライドで実物を知り、文献で理解していくつもりである。

テキスト：門脇禎二「飛鳥」(NHKブックス)

紀要 「韓国美術略史」

会津八一 奈良美術史料推古篇

#### ○現代女性論(Ⅱ)ー女性と職業、家族・家庭ー

富永 静枝

前年度に引き続き家族・家庭のあり方について学習すると同時に、2年次では特に女性と職業について学習を深めます。現代女性のおかれている状況を正しく認識し、問題解決の方向を探るために調査や見学なども行います。

#### ○日本女性史(Ⅱ)

西村 汎子

前年度に引き続き、高群逸枝の『日本婚姻史』を読みすすめるとともに、現代まで続く日本の家族関係の問題点や現代の課題などを明らかにしていきたい。

#### ○日本近現代史(Ⅱ)

平賀 明彦

1年次で習得した日本の近・現代に関する基本的な理解を基礎にして、個々のテーマをよりクリアーにしていくための作業を蓄積していく。後半では、ゼミ員それぞれが個別のテーマについて報告を積み重ね、相互に批判しあう中で問題点を煮詰めていく作業を行うことが課題となる。

#### ○ことばと文化(Ⅱ)

江坂 由紀子

前年度にひきつづき、日本文化の特長を、英語文化と比較対照しながら考察してゆきます。

前期、前半のテキストは、一年後期につづいて「菊と刀」。その後は未定。

#### 「日本の政治・社会と国際関係」

寺地 功次

今年度はふたつの軸を考えている。

第一に、昨年度のアメリカ史の概観を中心とした勉強を踏まえて、現代の日本やアメリカも含めた先進国の政治や社会がかかえる様々な問題や課題を比較政治的、比較文化的な観点から考察したい。

第二に、上で考察するような問題をかかえた日本が、戦後の歴史においてアジアや世界の他の地域にどのように関わってきたかも、時間の許す限り考えてみたい。

#### アメリカ文学研究Ⅱ

中島 好伸

1年次ではアメリカ文学の総体を概観したが、その歴史的な流れを念頭に置きながら、具体的な作家論へと進みたい。まず、できるだけ早い時期に取り上げる作家の代表作品(翻訳のないものは英語で!)を読破し、続いて自伝や伝記、論文等を数多く読み、作家の全体像を捉えて行く。膨大な読書を要求するが、この中から文学の方法論を学び取り、卒業レポートに結び付けて欲しい。どの作家を取り上げるかはみんなと相談して決めることにする。

#### 《卒業レポート》

(必) 2年

専任教員

小杉 瑪里

学生各自が自主的にテーマを決めて作成する。ただし、共同研究も可。枚数は400字30枚以上。所属ゼミでの研究を基礎にすることがのぞましい。

執筆に先だちガイダンスを行ない、その意義や叙述のしかたなど一般的な事柄について指導する。後期はゼミ担当教員が、研究資料の扱い方や研究方法など具体的な事柄について個別に指導する。レポート提出後、例年、発表会を行っている。

## 教養科教職科目

1年次・2年次

### 教育原理

黒田 瑛

初めに教育思想の歴史をたどり人間の発達と社会の観点から教育の目的と方法の原理を明らかにする。次に教育の行われる場（家庭、学校、社会）をとりあげ、それぞれの特徴と、対応する主な教育内容について考える。わが国の現行の教育制度と行政について述べるとともに、今日すすめられている日本及び他の国々の教育改革について内容・方法及び制度にわたって検討し、最後に教育評価の問題を考察する。

### 教育心理

林 潔

人格、教授法、教育評価という教育心理学全般について紹介します。あわせて、最近の教育の場のいくつかの問題を、心理学の問題としてとらえ、討議して行きたいと思います。

### 道徳教育の研究

黒田 瑛

「道徳」とは何かの考察からはじめ、道徳は、一体、教えられるのか、教えられるとすると、それはどういうことなのかについて考える。次に、子どもの道徳性の発達について、その心理発達の面と現代社会の特性にかかわる面とから考え、今日の中学校における道徳教育の目標、内容、指導計画などについて学ぶ。また、修身教育及び第2次大戦後の我が国の道徳教育の歴史とのかかわりで、現在の学校における道徳教育の諸問題をみることにする。

### 特別活動の研究

黒田 瑛

教育課程全体の中での特別活動の位置と意義を明らかにし、各教科と道徳および生徒指導と特別活動の関連について考える。次に、特別活動の目標と内容および、それらに即した指導計画の作成と展開について述べる。

### 生徒指導の研究

小 貫 栄

学校制度のなかで中学校はどんな位置を占めているか。また中学生の「心と体」はいかなる成長発達の経過をとるのか等をふまえ、主に中学校における「生徒指導」を研究の対象とする。

さらに生徒指導とかかわる「進路指導」「教育相談」の分野についても研究内容とし、「望ましい中学教師像とは何か」についての探求でしめくくる。

### 国語科教育法

野 本 秀 雄

国語科教育の性格と内容を概説しつつ、現在の国語教育に存在する問題点について考えていく。また、文部省の「国語科指導要領」を読んで、その内容を整理し、かつ、中学校の教科書の教材を用いて、指導の理論と具体的な指導方法について研究し、教育実習に備える学習も行う。

### 教育実習

栗 田 廣 美

教育実習は、教師を志す者にとって実りゆたかな学習の場である。「教師」としての態度で臨んで欲しい。

実習の詳細はあらかじめオリエンテーションを行うが、実習校では指導教諭等の指導・助言に従いつつ自らも創意工夫をこらし、積極的に教材研究・教案作成・授業等に当たることが必要である。

## 教養科博物館科目

1年次・2年次

### 博物館学

稲木 吉一

今日に至る博物館の歴史や事業（資料の収集、保管、展示、調査研究、教育普及）を概観すると共に、現在の博物館が抱える問題をとりあげながら、これからの博物館のあり方や学芸員の役割について考えてゆきたい。

テキストとして、全国大学博物館学講座協議会関西部会『博物館学概説』を使用する。

### 教育原理

黒田 瑛

初めに教育思想の歴史をたどり人間の発達と社会の観点から教育の目的と方法の原理を明らかにする。次に教育の行われる場（家庭、学校、社会）をとりあげ、それぞれの特徴と、対応する主な教育内容について考える。わが国の現行の教育制度と行政について述べるとともに、今日すすめられている日本及び他の国々の教育改革について内容・方法及び制度にわたって検討し、最後に教育評価の問題を考察する。

### 社会教育概論

藤田 博

社会教育とは何か、生涯教育の構想との関係でその本質を明らかにしたい。

とくに、社会教育がこれまでどのような歴史をたどってきたかに重点をおきながら、社会教育の現状と課題を学習する。

参考書等は教室において指示する。

### 視聴覚教育

南 利明

視聴覚的方法は、コミュニケーション技術の発達とともに多彩となっていた。講義ではまず写真・映画・蓄音機・ラジオ・テレビさらにハイビジョンなどニューメディアにいたるまでの視聴覚史を学習する。そして視聴覚理論の理解促進をはかるために博物館・美術館などの事例を参考にしながら展示解説文をはじめスライド・映画・ビデオテープ・ビデオディスクなど各視聴覚資料の特性、利用法などについて講義する。

### 博物館実習

平賀 明彦・上野 光子

学芸員にとって必要な知識、技術の修得のための実習を行います。1年次では主として、美術品の理解のために美術館見学等を行い、実技として、レプリ

カ・拓本・裏打・写真撮影・ポスター作成・軸物・茶道具・巻物等の取り扱いを実習します。2年次には、美術館・博物館等の見学実習と、それまで学んだことの集大成として館務実習を行います。

## 専攻科保育専攻第1部専門教育科目

### 《基礎科目》

#### 人間論

田中未来

まず、人間を、生物として、動物として、さらに人間として把えるための視点をあきらかにし、人間の自由と主体性、および価値の問題を考える。ついで、さまざまな人間観を手がかりにして、自らの人間観を確立するために、文学作品や哲学的な文献の一部を読んで、それをテーマに討議を行う。また、現代の科学技術の進歩や、労働の変容に伴う人間疎外の問題を考え、現代において、人間性を復活するための、保育、教育の役割を論ずる。

### 《共通科目》

#### 現代保育論

田中未来

- 1) 現代の日本の保育—当面する問題
- 2) 現代保育の理念—ヒューマンイズムと保育
- 3) 改訂幼稚園教育要領と保育所保育指針
- 4) 保育者の資質と役割
  - 保育者の資質
  - 保育者と子ども
  - 保育者と親
  - 保育者と職場のチーム・ワーク
  - 保育者と地域社会
- 5) これからの保育の課題と展望

#### 保育計画論

村田和子・米山千恵

保育計画を論じる基盤として、子ども観・人間観・保育観等について考え確かめ合う。

2年間、あるいは今まで身につけた保育に対する意識を十分活用しながら、モデル園の保育計画をもとに、現場の実践にもふれ、理論と実践の統一をめざす。

積極的な討議の展開を組みこみながら、保育計画とは何かを学習し、実践の場で具体的計画の立案が構想できるようにしていきたい。

#### 保育環境論

民秋言

子どもは、日々具体的な環境の中で生き、成長しています。そういう意味では、子どもは環境と共にある存在だということができます。この講義ではそうしたことをふまえて、子どもにとって環境とは何なのかということを考え、具体的に地域や園の保育環境の在り方を探っていくきたいと思います。

必要となる文献、資料については講義の中で紹介する。

#### 保育人間関係論

三沢英夫

保育の場は、子どもの親たち、そして保育者仲間との人間関係の場でもある。それが崩れると、子どもの成長・発達も阻害されがちである。特に相手が親の場合は尚更である。保育者は子どもの親から相談を受けたり、親に対する希望も持つが、その関係に苦勞するのが現状である。本講では、心理療法の知見を援用して、相談の受け方の実践的訓練を行ない、これを通して自己理解を深め、良き人間関係の在り様を探っていく。

#### 保育研究法

都留民子・吉川研二

保育者が自らの保育を高め深めていくためには、保育の場に存在する、あるいは生じてくる諸問題を、自らの確に把握し対応していくための方法論の確立が不可欠の条件となる。その要求に応ずるための科目が「保育研究法」である。つまり、保育の実践の場における課題や保育をめぐる諸問題をできるだけ幅広く、的確に把握し、その結果を分析し、それを保育の場にフィードバックする方法までを考える。尚、それらと関連して、文献研究の方法をも学ぶ。

#### 保育問題特講

八木紘一郎・小林捷哉・市川伸一  
庄司洋子・大場幸夫・岡田正章

この科目は、学生が現代社会の特徴的な保育問題の理解を深めることを意図して設置している。時代ごとの保育問題をタイムリーに扱おうとしている。特に保育の多様化と複雑化が複合的に進む保育問題の諸側面をコーディネートして開講している。今年度は、コンピュータ時代と幼児教育、少子化時代と保育問題における国際化問題を扱う。

#### あそび分析法

三沢英夫

乳幼児は「あそび」を通して、物、自分、他人に出会い、自らを成長・発達させていく。それを援助する保育者は、遊びを通して子どもたちに「受容」と「共感」を示していく役割をとるが、そのためには、遊びをもとに彼らの成長・発達の状態をとらえる視点を持たねばならない。本講では、遊びの意義、遊びを観察する枠組、そしてできるかぎり具体例を通して、個々の子どもが何故ほかならないその遊びをするのかを探っていく。

#### 集団保育論

無藤隆

ほぼ同年齢の子どもが、一人の保育者を核として、集団をなして、ある限ら

れた空間において一定の時間定期的に活動する、という意味での集団的保育を考察したい。子ども同士の関係および保育環境と子どもとの関係を軸として、さらに保育者がその関係をどのように援助するのかを考える。

### 乳幼児健康論

河鍋 嵩

いつの時代でも、乳幼児の健康水準は、地域、社会、国家の平和と安全の象徴であった。すなわち、劣悪な環境、低い生活水準、低俗な文化のしわ寄せが、弱者、わけても乳幼児の健康実態に反映するという事実がある。本講では、できる限り今日的な問題に焦点を置き、保育、教育、福祉に役立つ保健上の課題を提示したい。

### 神経生理学

工藤 行夫

人間の行動にとって、脳はどのような役割を果たしているのか。こころと脳とはどのような関係にあるのか。神経系、特に中枢神経系（脳）の基礎的な構造、機能を理解したうえで、精神医学的な知見も加え、脳の働きを共に考える時間としたい。

## 《コース別科目》

### ＜乳児保育コース＞

#### 生活習慣習得論

北 郁子

1. 子どもの全体像の発育を生活を通して概観する。
2. 日常生活の、もっとも基本となる食事、睡眠、排泄を中心に自立するまでの習慣形成を胎児期、乳児期、幼児期を通して生理学、医学、栄養学、心理学、社会学、保育学の立場でとらえ、保育のあり方を考える。
3. 実習を通して、乳幼児の実態をとらえレポートする。

### 発達助成論Ⅰ（母子関係）

今泉 岳雄

母子関係論と言うと、母子の二人だけに焦点をあてた研究も多い。しかし、実際には、母子を取り囲む様々な要因が両者の関係が形成される過程に影響を与えていることに気づく。

夫婦を中心とした家族の関係、母親自身の母性的な体験、妊娠・出産を受け入れる母親の心の準備状態、子供が未熟児や障害児であるための初期の母子分離の問題、兄弟出現による母子関係の変容など、多角的に母子関係を考える場にした。

### 発達助成論Ⅱ（探索活動・あそび）

西ノ内 多恵

子どもの発達と遊びについて、まず0歳児クラスから、年長クラスまでの、年齢の特徴を理解する。次に、3歳未満児クラスの遊びが、その流れの中でどう位置づくのか、意味づけを行ない、個々の子どもの、遊びの形成をはかるための、遊びの内容、援助の仕方について論ずる。

授業の方法は、文献の紹介、保育現場の資料の活用、スライド、ビデオなどによる。

### 発達助成論Ⅲ（信号・言葉）

佐々 加代子

乳幼児の発達助成者としての視点とかかわり方に焦点を当てた構成で、演習をふまえて論を展開する。観察者、実践者として、1人から数名、集団へと広がり設ける。信号行動系の観察表記から瞬時に判断、行動へを目指している。受講生自身がかかわり方の傾向（特質、問題点）を見出すことを期待しており、その問題解決への援助をする。対象乳幼児は障害児を含めて検討する。

### 発達助成論Ⅳ（表象・想像）

山口 寛子

乳児期の表象、想像活動の誕生と発達について理論と実際を知り、その指導学習過程、指導計画について研究する。具体的には以下の通り。

- ①表象、想像活動の誕生の意味、乳児期の思考、想像活動の実際とその指導過程
- ②象徴あそびの実際と指導法
- ③初期の描画、構成、造形、音楽、文学、身体運動等にかかわる活動にみられる表象、想像的要因とその指導・学習過程
- ④指導計画と指導法

### ＜幼児保育コース＞

#### 幼児の生活構造論

岡本 富郎

「幼児の生活構造論」では、幼児の生活の現状と、とらえ方から始まり、幼児が生まれ、生きることの意味と問題点を話す。そして、家庭、地域、園が抱える問題について考え、さらに園生がどう在ったらよいかを探ることにする。その際、園生活の「構造」とは何なのか、その内容の関連性はどうかという点について基本的な考え、さらに実際例をとり上げて分析する予定である。

### 保育内容研究Ⅰ（認識）

近藤 正樹

認識という副題にあるように知的なインプットの教育に関する教科として設定してある。認識と認知の違い・認知の生理学・認知の心理学・イメージのふ

くらし方・イメージの整理編集などに触れて講義をすすめる。井上圭司先生と組んでいるので、現場からの情報を提供していただき、近藤は認知論としてまとめる立場をとることにする。

#### 保育内容研究Ⅰ（認識）

井上圭司

幼児が確かな知的認識能力の発達をとげていくための基礎的な条件は、幼児が自発的自主的な遊びや活動を、量質共にどれだけ豊かに体験するかにある。

生活の主体者として、また生活の内容としての諸活動や諸教材を自ら選び、自ら決定していく園生活のつくり手としての幼児が、どのように育ち、どのように自分自身の諸能力を獲得し発達させていくのかを、具体的な実践事例にそって明らかにし、保育の人間化という課題に迫る。

#### 保育内容研究Ⅱ（表現①）

志摩弘

この時間では、子どもがみずから展開する「表現活動」音声、身ぶり、表情等を通しての基本的「表現」から「もの」を媒介とした「表現」へとすすみ、それにかかわる子どもの発達特徴などもふまえて、さらに保育者自身の「表現」の問題とあわせて、創造的な「表現」の可能性をさぐってみたい。

具体的には「みずから演ずる劇」や「人形劇」を演じつつ習得する方法をとることになる。

#### 保育内容研究Ⅲ（表現②）

今井久仁子・加宮 葵・若松美恵子

「表現活動」には、表現・鑑賞・創作、の大きい3つの柱がある。

専攻科では、これらの諸活動を、本科課程に積み重ねるものとし、より総合的にとらえ指導性を高めるものとする。

#### 保育内容研究Ⅳ（総合活動）

八木 紘一郎・前川 吉彦

保育内容・保育方法論としての「総合活動（学習）」について、合科学習及び領域別活動（教科別学習）との関係や構造と結びつけて理解することを主目的にする。

また複数の種類の「総合活動（学習）」事例のシュミレーション的な指導法研究の演習を通して「総合活動」の組織化について実践的且つ「総合的」に理解する。

#### <障害児保育コース>

##### 統合保育論

小菅茂雄

統合保育の統合とは、「保育の場の統合」と、「社会的相互作用の統合」、そして、障害を持つ子どもの「機能的統合」、この三統合をまさに統合的に成就することが理想である。

その立場から、理論と現状の分析の上に立って、統合保育を背負う実践者として、どのように日常化し、どのように協働構造をしくみ、どのように深化させたらいいか、探ってゆきたい。それで、療育的治療的スペシャリストに対応するゼネラリストの独自性を明確化したい。

##### 精神薄弱治療論

山田寿子

現在、多数の保育機関で統合保育が行われている。障害児を健常児とともに保育することの意義や重要性は理解されつつあるが、現場の保育者のためらい・苦勞は未だ大きい。また、障害児を健常児と混合して保育するだけで、障害に合った適切な保育がなされなければ保育の効果はない。本講義では、精神発達遅滞を中心に障害児及び障害のとらえ方を整理し、精神発達遅滞児の保育・指導方法について具体的に述べる。

##### 精神薄弱治療論

石田遊子

障害児の療育方法を考えていく上では、発達の視点に立って障害児の状態像を捉えることが必要である。特に情緒は、障害のあるなしにかかわらず、子どもの成長の基盤となる大切な側面である。その発達のすじ道を概観し、その上で主として情緒面の発達を考慮しながら子どもの発達を援助する方法を、VTRを使って具体的に紹介する。

##### 運動療育論

南雲直二

1. 障害の基本概念を理解する。例えば、疾病と障害の区別、障害の3層構造。
2. 脳性マヒ、筋ジストロフィー、脊髄損傷など代表的な運動障害を取りあげ、原因、症状、予後などについての基礎的な知識を習得する。
3. 各種の療育法について、背景の理論の理解と実際の理解を得る。

##### 言語療法論

佐々加代子

言語療法（治療、臨床）の対象児・者は、「言語」に何らかの問題を持つ人たちである。問題は発達、発音、流暢性や失語などに分類できるが、MD、CP、口蓋裂、ろう、難聴、情緒などに伴うものがある。療法論は、臨床過程にみる

対象者と臨床者のとらえ方から原因論、診断、治療までを含んでいるので、それぞれの見方から治療までを紹介する。事例の検討も行なう。対象児・者にかかわる保育者への留意事項をまとめて提言する。

#### 自閉症治療論

伊藤 英夫

自閉症は現在のところ、特異的な発達障害の一つとされているが、その原因などはまだ詳しく解明されていない。そこで、まず自閉症についての基本的理解を深めることから始める。現在行われている、早期療育プログラムや、新しい言語指導プログラム、海外での療育システム等、ビデオなどを用いて紹介する。適宜、自閉症児の統合保育や、通園施設での療育場面等、見学も行う予定である。

#### 情緒障害治療論

伊藤 英夫

情緒障害の概念と治療法の理論について学んだ後、実際の症例研究を基に、情緒障害児のプロフィール、情緒的混乱に陥った背景とプロセス、治療過程の実際等についてディスカッションなどを行い、理解を深める。可能ならば、実際の治療場面の見学も行いたい。

#### 《演習》

##### 卒業研究演習

専任教員

学生各自がもつ研究課題にもとづいて、小人数グループを編成し、専任教員が卒業研究演習を行なう。そこで専任教員の個別指導と、併せて、課題化を深める。また、学生の研究は、実習園での実習の中で、課題を更に焦点化し、実際に即しながら課題を追求していくことが望まれる。なお、年度末には研究の成果を論文としてまとめ、さらに3月の卒業研究発表会では口頭発表も行なうことになっている。

##### 社会福祉特別演習

小林 捷哉

この演習は「社会福祉実習」の事前・事後指導を組み入れつつ、受講生の社会福祉に関する関心、研究課題、実習で取り組みたい課題などを引き出しながらすすめていく。実習指導についてはオリエンテーション、実習内容の説明、実習テーマの設定、反省会などを行なう。このほかに社会福祉に関する理論的または実際的な問題について文献資料の講読、受講生各自の関心にもとづく調査研究報告と、それに関する討議、などをもとに演習をすすめる。

#### 《実習》

##### 専攻科実習

北 郁子・西ノ内 多恵

前期実習は、毎週火曜日を、後期実習は、11月に2週間の集中実習を行う。

実習園は、専攻するコース（乳児・幼児・障害児）、または卒業研究テーマによって、保育所・乳児院・幼稚園・障害幼児通園施設等の中から選ぶ。専攻科実習の特徴は、講義と実習と演習を有機的に関連させ、理論と実践の統合をはかり、実践性を身につけることにある。本科と異なり、実習のテーマは学生自身が設定して実習の成果を挙げるよう主体性が求められる。

##### 社会福祉実習

小林 捷哉

この実習は「社会福祉主事任用資格」取得希望者を対象に福祉事務所や児童相談所などの社会福祉専門行政機関、老人ホームや精神薄弱者援護施設などの社会福祉施設（原則として児童福祉施設を除く）で行なう。実習ではケースワーク、グループワークなどの援助技術を学ぶとともに、機関・施設を理解し、被援助者の生活を知ることをめざす。配属実習は7月下旬から8月上旬にかけての12日間を標準として実施し、実習の事前・事後指導は「社会福祉特別演習」の時間に実施する。

#### 《社会福祉関係科目》

##### 社会福祉制度政策論

都留 民子

わが国の国民生活の実態を分析した上で、それに対する政策と制度の進展と現状を学習していく。児童、障害者、高齢者等の対象別の社会福祉サービスや援助実践の保証に加えて、住宅、医療、所得保障の体系についても理解を深めるよう進めていきたい。

##### 社会福祉制度政策論

樽川 典子

児童福祉、障害者福祉、老人福祉など社会福祉の各分野における制度・政策のありようを各生活問題、援助実践と関連させながら理解を進めるようにしたい。いくつかのグループに分かれてそれぞれ分野をひとつ選び、その分野にかんしてレポートを作成する。

##### 障害福祉論

茨木 尚子

障害者福祉は障害をもつひとの生涯に渡ってのダイナミックな過程の中で、その固有な問題を捉え、権利の視点に立って把握していくことが重要である。

講義では今日の障害者福祉を支えるノーマライゼーション、自立概念等の理念について理解を深める。また各福祉施策を障害者のライフサイクルにそって体系的にとらえ、その現状と問題点を明らかにする。その中で教育や医療、就労等の他領域との連携についても深く考えていきたい。

#### 家族福祉論

浅井 春夫

現代の家族はさまざまな生活障害を抱えており、その具体的な解決策のひとつに家族福祉がある。現実の家族問題である児童養育問題、母子・父子家庭、老人・障害者家庭などを取りあげて、具体的な生活障害の内容を考える。さらに在宅福祉のあり方も含めて家族福祉政策のあるべき方向について考えていく。

#### 社会福祉調査法

岡本 多喜子

社会福祉調査とは、社会福祉の対象がかかえる問題を明らかにし、解決するための方策を見出すためのひとつの科学的方法である。社会福祉調査の手法は一つではなく、目的に適した方法を選択する必要がある。将来調査を実施することを想定し、調査方法、調査設計上の注意、解析の手法など基礎的なことを中心として、具体例を示しながら授業を行なう。

#### 社会福祉援助方法論

斎藤 謙

社会福祉における援助とはどのようなことであろうか。援助についての基本的な考え方を先づ学びたい。その上で方法論の基礎にふれることにする。

今年度は、いわゆるケースワークのみでなく、グループワークについても事例をいくつかとりあげて検討を加えるつもりである。

学習資料として、プリントや視聴覚教材を利用する。テキストについては未定。

## 専攻科福祉専攻専門教育科目

### 〈基礎科目〉

#### 人間論

田中 未来

まず、人間を、生物として、動物として、さらに人間として捉えるための視点をあきらかにし、人間の自由と主体性、および価値の問題を考える。ついで、さまざまな人間観を手がかりにして、自らの人間観を確立するために、文学作品や哲学的な文献の一部を読んで、それをテーマに討議を行う。また、現代の科学技術の進歩や、労働の変容に伴う人間疎外の問題を考え、現代において、人間性を復活するための、保育、教育の役割を論ずる。

### 〈介護福祉専門科目〉

#### 老人福祉論

小林 捷哉

〔講義の目標と内容〕1.老人福祉の社会的意義について理解する。2.高齢者の生活を知る。3.老人福祉の理念、原理を理解する。4.老人福祉の歴史的な展開を把握する。5.老人福祉の構造(対象、主体、方法)を理解する。6.老人福祉制度の概要(法制、行政機関、福祉サービス、施設、処遇)について理解する。7.老人保健について理解する。8.関連行政・諸サービス(民間シルバー・サービスをふくむ)について理解する。9.事例研究により理解を深める。

#### リハビリテーション論

菊池 恵美子

〔講義の目標と内容〕1.リハビリテーションの理念と基本原則、歴史的発展を理解する。2.障害の分類とその意味、必要な援助法を学ぶ。3.リハビリテーションに関わる専門職種役割と機能を理解する。4.目標の設定とリハビリテーション計画について知る。5.社会的リハビリテーションの実際と社会資源について学ぶ。6.リハビリテーションの立場から介助の意味と方法を知る。なお介助の方法については実技を行なう。

#### 老人・障害者の心理

河合 千恵子

〔講義の目標と内容〕1.老化や障害が本人に与える心理的影響について理解する。2.老年期の心理的特性を理解する。3.障害の心理的特徴を理解する。4.障害の原因・程度・種類別にみた心理的特性を理解する。5.老年期や各種障害者の心理的特性が家族や周囲の者にもたらす影響について理解する。

6.老人や障害者の心理への対応(病院・福祉施設・機関・家族の対応、カウンセリングとケースワーク、リハビリテーション、レクリエーション)を理解する。7.事例研究により理解を深める。

## 家政学概論

佐藤美千子(家庭生活・住生活)

西尾愛子(衣生活)・北都子(食生活)

[講義の目標と内容] 1. 家庭生活の社会的性格家庭機能の変容および家庭管理のあり方を理解させるとともに、家事、介護援助の社会的役割を考えさせる。2. 家庭の生活領域別に、管理の視点、基礎的な知識を学び、管理能力を養う。生活領域を、家庭生活の経営と管理、衣生活、食生活、住生活の4つの領域に分けて、それぞれの役割と機能、生活管理の具体的内容、老人・障害者の生活などについて学ぶ。〈講義は生活領域別に実習と組み合わせて実施する〉

## 家政学実習

佐藤美千子(家庭生活・住生活)

西尾愛子(衣生活)・北都子(食生活)

[実習の目標] 1. 衣・食・住に関する技能を習得する。2. 老人や障害者の家庭生活に必要な実践的経営・管理能力を養う。

[実習の内容] 生活領域別に、1. 家庭生活の経営管理(家事(介護)作業計画の作成) 2. 衣生活(被服管理、老人障害者向けの被服デザインや構成等) 3. 食生活(食事歴調査、献立作成と実習、食生活の指導法) 4. 住生活(室内環境整備、清掃技術、住居管理等)の4領域に分けて、講義と組み合わせて行なう。

## 介護概論

木下安子

[目標] 高齢や疾病、障害によって自力では生活が維持できない状態にある人々の生命を維持向上をさせ、その生活を快適に営めるよう支援することを目的とする。そのため直接的な身体的、心理的、社会的ケアの理論と方法を学ぶ。

[内容] ・介護の定義、変遷、役割・介護の対象・介護の方法・介護技術の基本、生活行動援助、介護提供の場の介護課題・介護研究と専門性の確立・介護理論。

## 介護技術

木下安子

[目標] 直接的な介護支援が出来るように、介護の基本技術の原理を理解し、その具体的な方法を講義、実習、演習によって習得する。

[内容] ・基本的な介護技術、生活行動援助技術(介護具、自助具の使用を含む)介護過程・特殊場面の介護、医療看護対応時の協力、救急、事故時の介護、終末期介護・介護記録・活動の検討方法・活動の場での介護技術の適用とその展開。

## 障害形態別介護技術

木下安子(介護技術全般・老人)・直居 鉄(視覚障害)

関口浩子(聴覚障害)・関谷栄子(肢体不自由・内部障害)

[目標] 老人 視覚障害 聴覚・言語障害 肢体不自由・内部障害等、各障害形態の特性に応じた介護の原理と具体的な方法を、講義、実習、演習によって学ぶ。

[内容] ・老人・障害者の特性とその生活障害の理解・各特性に対応する介護課題・課題別介護方法の理解と技術の適用・各介護活動の場(施設、在宅等)での介護過程・保健、医療活動との連携・障害形態別事例検討。

## 《実習》

### 実習指導

小林結美

360時間の介護実習を充実させ、介護福祉専門職としての能力と自覚を培うことを目標に、実習前には自己の課題の設定、施設の理解、実習中は理論と実際の統合、実習後には体験をフィードバックしながらの反省を行なう。

特に実際の介護過程を理論的な裏付を持って、具体的に実践できるように、後半は事例研究を中心に進めていく。

### 介護実習

木下安子・小林結美

[目標] 福祉施設や在宅等の介護の現場において対象者に接し、指導者の指導のもとに援助課題にしたがって、直接、介護を行う。その結果を評価、検討し介護実践力を養う。

[内容] 特別養護老人ホーム等でⅢ期に分け実習する。各期毎の実習課題を設け、段階別に総合的、包括的な援助をおこなう。

[方法] 対象者の理解と介護課題を知る。・各介護課題にしたがって介護技術を適用する。結果を評価し事例研究を行う。

## 《特 講》

### 介護福祉特講（老年医学）

中 川 晶 輝

#### I) 老人・福祉・介護

(イ) 老人とは。(ロ) 福祉とは。(ハ) 介護とは。

#### II) 自然的老化とその対応

(イ) 身体的側面。(ロ) 精神的側面。(ハ) 対応。

#### III) 不自然的老化とその対応

(イ) 身体面。(1) 障害 (2) 病気 (3) 対応 (ロ) 精神面。(1) 一次的(器質的)原因。(2) 二次的(機能的)原因。(3) 対応。

#### IV) 医療と福祉 (イ) 医療のあるべき姿と現状。(ロ) 福祉のあるべき姿と現状。

#### V) 期待される介護福祉像(全体討議)

### 介護福祉特講（レクリエーション・ワーク）

三 木 和 子

近年一般社会においては、労働時間の短縮による余暇時間の増大に伴い、レジャー・レクリエーションへの関心が高まって来ている。それとはやや趣を異にするが、社会福祉の分野においても、福祉サービス利用者の生活の質を高めるべく、レクリエーションへの期待が大きくなって来ている。レクリエーションをどのように捉えたら良いのか、又、レクリエーション・ワーカーの役割や活動について、理論、実技の両面から考えていきたい。

## 《卒業研究》

### 卒業研究演習

小林捷哉・木下安子ほか（専任3名）

〔演習の目標と内容〕1. 学生が各自の介護福祉、老人福祉、障害福祉等に関する関心に基づいて研究課題を設定し、専任教員の指導のもとに個別または小グループで文献講読、資料の収集・分析、調査、観察、実技等の方法により研究をすすめる。研究の課題は特に実習と有機的に結びつけることによる学生の主体的な取り組みが期待される。なお、年度末には研究の成果を論文としてまとめ、さらに3月の卒業研究発表会で口頭発表を行なうことになっている。

## 《社会福祉関係科目》

### 社会福祉制度政策論

都 留 民 子

わが国の国民生活の実態を分析した上で、それに対する政策と制度の進展と現状を学習していく。児童、障害者、高齢者等の対象別の社会福祉サービスや援助実践の保障に加えて、住宅、医療、所得保障の体系についても理解を深めるよう進めていきたい。

### 社会福祉制度政策論

樽 川 典 子

児童福祉、障害者福祉、老人福祉など社会福祉の各分野における制度・政策のありようを各生活問題、援助実践と関連させながら理解を進めるようにしたい。いくつかのグループに分かれてそれぞれ分野をひとつ選び、その分野にかんしてレポートを作成する。

### 障 害 福 祉 論

茨 木 尚 子

障害者福祉は障害を持つ人の生涯にわたってのダイナミックな過程の中で、その固有な問題を捉え、権利の視点に立って把握していくことが重要である。講義では今日の障害者福祉を支えるノーマライゼーション、自立概念等の理念について理解を深める。また各福祉施策を障害者のライフサイクルにそって体系的にとらえ、その現状と問題点を明らかにする。その中で教育や医療、就労等の他領域との連携についても深く考えていきたい。

### 家 族 福 祉 論

浅 井 春 夫

現代の家族はさまざまな生活障害を抱えており、その具体的な解決策のひとつに家族福祉がある。現実の家族問題である児童養育問題、母子・父子家庭、老人・障害者家庭などを取りあげて、具体的な生活障害の内容を考える。さらに在宅福祉のあり方も含めて家族福祉政策のあるべき方向について考えていく。

### 社会福祉調査法

岡 本 多 喜 子

社会福祉調査とは、社会福祉の対象がかかえる問題を明らかにし、解決するための方策を見出すためのひとつの科学的方法である。社会福祉調査の手法はひとつではなく、目的に適した方法を選択する必要がある。将来調査を実施することを想定し、調査方法、調査設計上の注意、解析の手法など基礎的なことを中心として、具体例を示しながら事業を行なう。

### 社会福祉援助方法論

斎藤 謙

社会福祉における援助とはどのようなことであろうか。援助についての基本的な考え方を先づ学びたい。その上で方法論の基礎にふれることにする。

今年度は、いわゆるケースワークのみでなく、グループワークについても事例をいくつかとりあげて検討を加えるつもりである。

学習資料として、プリントや視聴覚教材を利用する。テキストについては未定。

### 社会福祉特別演習

小林 捷哉

この演習は「社会福祉実習」の事前・事後指導を組み入れつつ、受講生の社会福祉に関する関心、研究課題、実習で取り組みたい課題などを引き出しながらすすめていく。実習指導についてはオリエンテーション、実習内容の説明、実習テーマの設定、反省会などを行なう。このほかに社会福祉に関する理論的または実際的な問題について文献資料の講読、受講生各自の関心にもとづく調査研究報告と、それに関する討議、などをもとに演習をすすめる。

### 社会福祉実習

小林 捷哉

この実習は「社会福祉主事任用資格」取得希望者を対象に福祉事務所や児童相談所などの社会福祉専門行政機関、老人ホームや精神薄弱者援護施設などの社会福祉施設（原則として児童福祉施設を除く）で行なう。実習ではケースワーク、グループワークなどの援助技術を学ぶとともに、機関・施設を理解し、被援助者の生活を知ることがめざす。配属実習は7月下旬から8月上旬にかけての12日間を標準として実施し、実習の事前・事後指導は「社会福祉特別演習」の時間に実施する。